

ひらかたしょうがいしゃけいかく だい じ ちゅうかんそうかつ み こ
 枚方市障害者計画(第4次)の中間総括見込み

しりょう
 資料2-2

こんご ほうこう
 ※今後の方向について
 かくじゅう とりぐみ はってん かくじゅう げんじょういじ とりぐみ けいぞく
 拡充: 取組を発展・拡充させる 現状維持: これまでの取組を継続する
 みなお とりぐみ しゅほう ようけん たいしやう じぎやう き ぼ みなお
 見直し: 取組の手法や、要件、対象、事業規模などを見直す
 しゅうりやうかんりやう じぎやうもくてき たつせい とりぐみ
 終了(完了): 事業目的を達成した取組
 しゅうりやうきゅうし かだいなど じぎやう ちゅうし とりぐみ
 終了(休止): 課題等があり、事業を中止している取組

しみんけいはつおよ ちい き こうりゆう すいしん
 1. 市民啓発及び地域との交流の推進

たよう けいはつ すいしん
 1 多様な啓発の推進

		けいかく 計画		ちゅうかんそうかつみこみ 中間総括見込み	
し さく きほ 施策の基 本目標	しよかん か 所管課	し さく めい 施策名	と り ぐ み 取り組み	れ い わ ね ん ど ま つ 令和5年度末における取組の総括	こんご ほう 今後の方 向
(1) 人 権 ・ 人 命 の 尊 重	じんけんせいさく 人権政策 しつ 室	じんけんそんちやう 人権尊重のまちづ くりへの総合的取 組み	じんけんそんちやう り ね ん しんどう 人権尊重の理念の浸透と 障害者への差別をはじ め、あらゆる差別の撤廃 に向け、啓発や学習を進 めていきます。	じんけんそんちやう じつげん ひらかたじんけん きやうかい いたく こうざ い じんけんぶ 人権尊重のまちづくりを実現するために、枚方人権まちづくり協会へ委託し、講座「生きること」、人権文 化セミナー、人権週間事業及び北朝鮮人権侵害問題啓発週間事業を実施しました。市民の人権意識 の更なる高揚を図るため、引き続き啓発活動に取り組みます。	げんじょういじ 現状維持: これまでの 取組を継 続する
	じどうせいと 児童生徒 しえん か 支援課			まいねんど じんけんきやういくたんどうしや たいしやう けんしゅうかい じつし ①毎年度、人権教育担当者を対象に研修会を実施しました。 ちい きじんざいとう かつよう しよくぎやうこうわ しよくぎやうたいけんとう とお せいと しやうがい かん りかい ふか ②地域人材等の活用による職業講話、職業体験等を通して生徒が障害に関する理解を深めました。 ひらかたし きやうぎかい なか こ じんけんけいはついんかいとう そしき かてい ちい き れんけい ふか ③枚方市PTA協議会の中に子ども人権啓発委員会等を組織するとともに、家庭や地域との連携を深 め、人権意識の高揚・啓発を積極的に推進しました。	げんじょういじ 現状維持: これまでの 取組を継 続する

		けいかく 計画		ちゅうかんそうかつみこみ 中間総括見込み	
しやく きてい 施策の基 ん もくひょう 本目標	しよかん か 所管課	しやくめい 施策名	とく 取り組み	れいわ ねんどまつ 令和5年度末における取組の総括	こんご けう 今後の方 こう 向
(1) じんけん・じんめいの 尊重	じんじ か 人事課	しよくいんけんしゆう じっし 職員研修の実施	しょうがい かん りかい ふか 障害に関する理解を深め るため、人権や障害に関 する職員研修を行いま す。また、手話研修など、 しょうがい にんしき ふか と 障害への認識を深める取 り組みを継続します。	しんにゆうしよくいん たいしろう けんしゆう しょうがいしやさべつかいしろうほう かん ちしきしゆうとく たんとう ふしよ しょういん 新入職員を対象とした研修において、障害者差別解消法に関する知識習得のため、担当部署の職員 より説明を受ける機会を設けました。加えて、新入職員に対しては、様々な障害に関する知識習得、障 害のある方への理解を深める研修も実施しました。(令和5年度は59人参加) また、手話研修を実施し、聴覚障害のある方についての認識を深めるとともに、コミュニケーションの手 段としての初級手話の学習・習得等に努めました。(令和5年度はx人参加)	げんじょういじ 現状維持: これまでの とり組み け 取組を継 いぞく 続する
	しょうがいきかく 障害企画 課			しんにゆうしよくいん たい しょうがい かん りかい ふか けんしゆう おこな しゅわけんしゆう がいぶけんしゆう さん 新入職員に対し、障害に関する理解を深めるための研修を行ったほか、手話研修や外部研修への参 加等により、障害への認識を深めるよう取組みました。	げんじょういじ 現状維持: これまでの とり組み け 取組を継 いぞく 続する
	しょうがいしえん 障害支援 課			しんにゆうしよくいん しんにんたんとうしや たい しょうがい かん りかい ふか けんしゆう おこな しょうがい にんしき ふか 新入職員や新任担当者に対し、障害に関する理解を深めるための研修を行うなど、障害への認識を深 める取組を実施します。	げんじょういじ 現状維持: これまでの とり組み け 取組を継 いぞく 続する

		けいかく 計画		ちゅうかんそうかつみこみ 中間総括見込み	
しやくきほ 施策の基 んもくよう 本目標	しよかんか 所管課	しやくめい 施策名	とく 取り組み	れいわねんどまつ 令和5年度末における取組の総括	こんごほう 今後の方 こう向
(2) 虐待や差別の防止	けんこうふくし 健康福祉 そうごう 総合相談 か課	しょうがいしゃけんりよう 障害者の権利擁 護と成年後見制度 の利用援助の充 うじつ実	ちてきしょうがいしゃせいしんしやうがい 知的障害者、精神障害 者、認知症高齢者等の権 りようごはか 利擁護を図るために、成 いねんこうけんせいど 年後見制度について、相 だんうえんじよたいせい 談を受け援助できる体制 を整備し、事業の充実に つと努めます。	けんこうふくしそうごうそうだんかかくひらかたしちいきほうかつしえん 健康福祉総合相談課・各枝方市地域包括支援センターにて相談に対応し、必要に応じ関係機関の紹 うかいかんけいしりようはいふ 介、関係資料を配布するとともに、成年後見制度申請時の書類作成の援助を行っています。	げんじょういじ 現状維持： これまでの とりくみけ 取組を継 いぞく 続する
	しょうがいしえん 障害支援 か課			せいねんこうけんせいどりようしえんじぎょうこうけんせいどりようせいかつほごとうていしよとくしやえんかつせいねん 成年後見制度利用支援事業により、後見制度を利用する生活保護等の低所得者が、より円滑に成年 こうけんせいどりようしえん 後見制度を利用できるよう支援します。	げんじょういじ 現状維持： これまでの とりくみけ 取組を継 いぞく 続する
	けんこうふくし 健康福祉 せいさくか 政策課			ちゅうかくきかんそうだんきのうかくじゅうしよぐいんせんもんしよく(ぎょうせいしよし)はいちひびそうだんたい 中核機関における相談機能の拡充として、センター職員に専門職(行政書士)を配置し、日々の相談対 おうおこなしえんもくてきせんもんしよくはけんかいしいつていそうだんたいせいこうちく 応を行うとともに、チーム支援を目的に専門職の派遣を開始したことにより、一定の相談体制の構築を はかちいきれんけいきょうぎかいふかいそうだんしえんぶかいせつちしえん 図りました。また、地域連携ネットワーク協議会の部会として、相談支援部会を設置し、チーム支援の あかたけんとうはじ 在り方の検討を始めました。	げんじょういじ 現状維持： これまでの とりくみけ 取組を継 いぞく 続する

		けいかく 計画		ちゅうかんそうかつみこみ 中間総括見込み	
しやく きてい 施策の基 ん もくひょう 本目標	しよかん か 所管課	しやくめい 施策名	とく 取り組み	れいわ ねんどまつ 令和5年度末における とくみ そうかつ 取組の総括	こんご ほう 今後の方 こう 向
(2) 虐待や差別の防止	けんこう ふくし 健康福祉 そうごう そうだん 総合相談 か 課	けんりやうご 権利擁護のため の制度等の周知	せいねんこうけん せいで しやかい ふくし 成年後見制度や社会福祉 きようぎかい じつし け 協議会が実施している権 りり しょうご 利擁護のための取り組み について障害のある人や 家族への周知を図るとと もに、広報、パンフレットの はつこう まどぐち など 発行や窓口等における情 うほう ていきよう 報を提供します。	ぜんねんど ひ つつ しみんむ 前年度に引き続き、市民向けのパンフレット「成年後見制度のしおり」の周知活動を図っています。ま た、各枚方市地域包括支援センターでは独自のリフレット、ちらし等を作成し配布するとともに、地域 ケア会議等において地域住民、民生委員等に周知及び情報提供を図っています。	げんじょういじ 現状維持： これまでの とくみ け 取組を継 いぞく 続する
	しょうがいえん 障害支援 か 課			せいねんこうけんせいで かん まどぐち ようい せいねんこうけんせいで しょうほう ひつよう しみん たい 成年後見制度に関するパンフレットを窓口に着意し、成年後見制度の情報を必要とされる市民に対し 配布し、成年後見制度の仕組みや手続き等の情報提供を行います。	げんじょういじ 現状維持： これまでの とくみ け 取組を継 いぞく 続する
	けんこうふくし 健康福祉 せいさく か 政策課			けんりり しょうご せいねんこうけん はいか かくしゆ こうえんかい ひらかた権利擁護成年後見センターにおいて、チラシの配架や各種講演会、ひらかた権利擁護成年後 見センターのホームページ作成等を通じて、制度の周知を行いました。	げんじょういじ 現状維持： これまでの とくみ け 取組を継 いぞく 続する

		けいかく 計画		ちゅうかんそうかつみこみ 中間総括見込み	
しやく きて 施策の基 んもくひょう 本目標	しよかん か 所管課	しやくめい 施策名	とく 取り組み	れいわ ねんどまつ 令和5年度末における取組の総括	こんご ほう 今後の方 こう 向
(2) 虐待や差別の防止	しょうがいしえん 障害支援 か課	ぎやくたい たいおう 虐待への対応	しょうがいしや ぎやくたいぼうし 障害者への虐待防止のため、障害者虐待防止センターで、24時間365日体制で相談・通報に対応します。関係機関と連携し、虐待発見後の迅速、かつ適切な対応を図ります。	ひらかたし しょうがいしやぎやくたいぼうし せっち そうだん つうほう じかん にちたいせい たいおう た しな い 枚方市障害者虐待防止センターを設置し、相談・通報に24時間365日体制で対応し、その他市内7か所の障害者相談支援センターの協力も得て、虐待に関する受付を行います。また、虐待の防止、迅速な対応のため、関係機関との連携、情報共有の場として、関係機関会議を開催します。	げんじょういじ 現状維持： これまでの け 取組を継 いぞく 続する
	しょうがいしえん 障害支援 か課	しょうがいしやさべつかいしょう 障害者差別解消 ほう たいおう 法への対応	しょうがいしや たい さべつ か 障害者に対する差別の解消に資する取り組みとして、関係機関とネットワーク組織を構築し、情報の収集および共有を図ります。相談事業に対し、関係機関や大阪府と連携し、差別解消に向けた取り組みを推進します。	ひらかたししょうがいしやさべつかいしょうしえんちいききょうぎかい かいさい そうだんじれい いけんこうかん おこな ひつよう 枚方市障害者差別解消支援地域協議会を開催し、相談事例について意見交換を行うとともに、必要な情報共有を図り、関係機関との連携強化に取り組みます。	げんじょういじ 現状維持： これまでの とりくみ け 取組を継 いぞく 続する

		けいかく 計画		ちゅうかんそうかつみこみ 中間総括見込み	
しやく きてい 施策の基 ん もくひょう 本目標	しよかん か 所管課	しやくめい 施策名	とく 取り組み	れいわ ねんどまつ 令和5年度末における取組の総括	こんご ほう 今後の方 こう 向
(3) 合理的 配慮	じどうせいと 児童生徒 しえん か 支援課	しょうがいしゃ りかい 障害者への理解 ふか きょういく を深める教育	しょう ちゅうがっこう がく 小・中学校においては、学 ねん あ 年に合わせて、さまざまな しょうがい かん しょうがいしやり かい 障害に関する障害者理解 きょういく すず 教育を進めます。	さっし さくせい かつよう ○冊子の作成・活用 ひらかたしじんけんきょういくけんしゅうかい こうえんろく ・「枚方市人権教育研修会講演録」 しりょう かつよう ○資料の活用 じんけんきょういく しりょう おおさかふ きょういくいんかい ・「人権教育のための資料」(大阪府教育委員会) がっこう じんけんきょういくすいしん じれいしゅう おおさかふ きょういくいんかい ・「学校における人権教育推進のための事例集」(大阪府教育委員会) じんけんきょういく しどうほう かな おおさかふ きょういくいんかい ・「人権基礎教育指導事例集」(大阪府教育委員会) じんけんきょういく しどうほう かな あ かた だいいちじ だいさんじ ・「人権教育の指導方法等の在り方について」[第一次とりまとめ][第二次とりまとめ][第三次とりまと め] (人権教育の指導方法等に関する調査研究会議) まな そだ しょうがいきょういく じゅうじつ おおさかふ きょういくいんかい ・「ともに学び、ともに育つ障害教育の充実のために」(大阪府教育委員会) せいしんしょう りかい ふか おおさかふ きょういくいんかい ・「精神障がいについて理解を深めるために」(大阪府教育委員会) いちりつしょうちゅうがっこう しゅたいてき とりくみ ○市立小中学校における主体的な取組 もうどうけん かん こうわ じっし ・盲導犬に関する講話の実施 てんじ かくだいきょうかしょ しゅわ かん がくしゅうかい はくじょう かん たいげんがくしゅう じっし ・点字・拡大教科書や手話に関する学習会、白杖に関する体験学習の実施 ちいき しょうがいしゃ じゅさんしせつ こうりゅう じっし ・地域の障害者授産施設との交流の実施 おおさかふりつ しえんがっこう じどう・せいと きょじゅうち こうこうりゅう ・大阪府立支援学校の児童・生徒との居住地校交流	げんじょういじ 現状維持： これまでの とりくみ け 取組を継 いぞく 続する

		けいかく 計画		ちゅうかんそうかつみこみ 中間総括見込み	
しやく ぎほ 施策の基 ん もくひょう 本目標	しよかん か 所管課	しやくめい 施策名	とく 取り組み	れいわ ねんどまつ 令和5年度末における取組の総括	こんご ほう 今後の方 こう 向
(3) 合理的 配慮	こうほう 広報プロ モーショ ン課	じょうほうはっしん 情報発信	こうほう 広報ひらかたやホーム ページをはじめ、さまざま な媒体を通して、障害や 障害者に関する啓発活動 及び取り組みなどの情報 を広く発信していきます。	こうほう 広報ひらかたやホームページをはじめ、さまざまな媒体を通して、障害や障害者に関する啓発活動及び取り組みなどの情報を広く発信しました。	げんじょういじ 現状維持： これまでの とりくみ け 取組を継 いぞく 続する
	しょうがいきかく 障害企画 か 課			かくしゆしんせいかんしょう 各種申請勸奨のほか、講習会(スポーツ講習、手話講習、ガイドヘルパー養成研修など)の開催などについて、しゅうち の周知を、広報ひらかたやホームページでおこな	げんじょういじ 現状維持： これまでの とりくみ け 取組を継 いぞく 続する
	じんけんせいさく 人権政策 しつ 室	かいさい イベントの開催	しょうがい しょうがいしや りかい 障害や障害者への理解を 促すため、啓発イベントや キャンペーンを開催しま す。	しょうがいしや りかい およ にんしき るか きかい 障害者への理解及び認識を深める機会として、講座等を実施しました。 こんご ひ つづ こうざ こうえん 今後も引き続き、講座・講演のテーマに取り入れる等、理解促進に繋がる取り組みを進めます。	げんじょういじ 現状維持： これまでの とりくみ け 取組を継 いぞく 続する

		けいかく 計画		ちゅうかんそうかつみこみ 中間総括見込み	
しやくきほ 施策の基 んもくひょう 本目標	しよかんか 所管課	しやくめい 施策名	とく 取り組み	れいわねんどまつ 令和5年度末における取組の総括	こんごほう 今後の方 こう 向
(3) 合理的配 慮	しょうがいきかく 障害企画 課	イベントの開催	しょうがいしょうがいしや 障害や障害者への理解を 促すため、けいはつ 啓発イベントや キャンペーンを開催しま す。	しょうがいひとちいき 障害のある人が地域でいきいきと活動できる社会実現を目指すイベント「ほっこりひらかた」として映画 上映会・講演会のイベントを開催しました。カリヨンの鐘(ヒラリヨン)のライトアップにより、「世界自閉症 啓発デー」や「手話言語の国際デー」の啓発イベントを実施するほか、こどもみらいぶ 子ども未来部、スポーツ振興課 の主催するイベントにおいて手話体験コーナーを実施するなど、手話の普及啓発に取り組みました	げんじょういじ 現状維持： これまでの 取組を継 続する

2 ちいきこうりゆう 地域との交流

		けいかく 計画		ちゅうかんそうかつみこみ 中間総括見込み	
しやくきほ 施策の基 んもくひょう 本目標	しよかんか 所管課	しやくめい 施策名	とく 取り組み	れいわねんどまつ 令和5年度末における取組の総括	こんごほう 今後の方 こう 向
(1) 地域福 祉活 動	けんこうふくし 健康福祉 せいさくか 政策課	ちいきふくしかつどう 地域福祉活動の 普及	しみんしやうたいき 市民が主体的に担う地域 福祉活動を促進するた め、たようがくしやう 多様な学習の機会や こうほう 広報によって、ちいきふくし 地域福祉 の考え方の普及を図ると ともに、活動の紹介などを 行います。	しみんしやうたい 市民が主体となって実施する「小地域ネットワーク活動」をはじめとした、かくしゆちいきふくしかつどう 各種地域福祉活動の促進の ため、社会福祉協議会との連携のもと、学習会・サロン活動等の開催を支援しました。 こんご 今後、かいじようかくほ 会場確保や講師職員の派遣等を通じ、活動の促進を図るとともに、ちいきかつどう 地域活動を支える担い手 の養成のため、せつきよくてき 積極的に研修会等を開催し、相互交流の機会の場の提供・紹介に努めます。	げんじょういじ 現状維持： これまでの 取組を継 続する
	けんこうふくし 健康福祉 せいさくか 政策課	ちいきふくしけいかく 「地域福祉計画」 の推進	ひらかたしちいきふくしけいかく 「枚方市地域福祉計画」の 着実な実施により、社会 ふくしきようぎかいなどかんけい団体と 福祉協議会等関係団体と れんけい 連携し、しみん 市民による地域 ふくしかつどう 福祉活動の支援を充実さ せます。	れいわねん 令和2年3月に策定した「枚方市地域福祉計画(第4期)」に基づき、社会福祉協議会と連携し、市民に よる地域福祉活動の支援に取り組みました。また、令和7年3月の「枚方市地域福祉計画(第5期)」の 策定に向けて、ちいきふくし 地域福祉に關する市民の意識や現状などを把握するためアンケート調査を実施しまし た。(予定)	げんじょういじ 現状維持： これまでの 取組を継 続する

		けいかく 計画		ちゅうかんそうかつみこみ 中間総括見込み	
しやく きてい 施策の基 ん もくひょう 本目標	しよかん か 所管課	しやくめい 施策名	とく 取り組み	れいわ ねんどまつ 令和5年度末における取組の総括	こんご ほう 今後の方 こう 向
(1) 地域福祉活動	けんこうふくし 健康福祉 せいさく か 政策課	ボランティア活動 支援体制の整備	社会福祉協議会(枚方市 ボランティアセンター)等と 連携して、ボランティアが 円滑に活動できるよう必 要な環境整備を図ります。	社会福祉協議会(枚方市ボランティアセンター)でのボランティア体験プログラム、ボランティアスクール などの活動に取り組みました。 また、災害時要援護者事業については、災害ボランティアを募り、ボランティアセンターに登録する事業 を行いながら、避難行動要支援者名簿と災害時要援護者名簿との一本化を行いました。(予定)	現状維持: これまでの 取組を継 続する
	けんこうふくし 健康福祉 せいさく か 政策課	ボランティア体験 の推進	枚方市社会福祉協議会 (枚方市ボランティアセン ター)等と連携して、誰も が参加できるボランティア 体験事業を推進します。	社会福祉協議会(枚方市ボランティアセンター)でのボランティア体験プログラム、ボランティアスクール などの活動に取り組みました。 また、災害時要援護者事業については、災害ボランティアを募り、ボランティアセンターに登録する事業 を行いながら、避難行動要支援者名簿と災害時要援護者名簿との一本化を行いました。(予定)	現状維持: これまでの 取組を継 続する
(2) 地域交流の推進と居場所づくり	しょうがいしゃ 障害企画 か 課	交流機会の充実	サービス事業者等と連携 し、障害の有無に関わら ず共に楽しめるレクリエー ションや文化・スポーツ活 動等の交流機会の充実を 図ります。	障害者等の交流を図るイベント「ふれあいスポーツ交流会」と、「ジョイフルクリスマス会」をそれぞれ年1回 開催しました。新型コロナウイルス感染症の拡大防止等のため、直近3年間は開催を見送る年もありま した。感染防止対策を行いながらの開催となりましたが、直近では160名程度の参加者があり、交流を 図る貴重な機会となっています。	現状維持: これまでの 取組を継 続する
	しょうがいしゃ 障害企画 か 課	身近な居場所づく り	障害者が日常的に、気軽 に立ち寄り時間を過ごせ る身近な交流拠点を、地 域活動支援センターとの 連携によって確保します。	令和3年4月に新たに地域活動支援センターⅢ型1か所が開設され、市内9か所の地域活動支援セン ターでは、障害者が日常的に気軽に立ち寄り、時間を過ごせるよう、様々な創作的活動や生産活動の メニューを用意し、多くの方が利用しました。	現状維持: これまでの 取組を継 続する

2. 障害者(児)が安心できるまちづくり

1 公共施設の整備等

		計画		中間総括見込み	
施策の基 本目標	所管課	施策名	取り組み	令和5年度末における取組の総括	今後の方 向
(1) バリアフリーの整備	建築課	公共施設の整備・改善	誰もが利用しやすい公共施設をめざし、学校施設ほか市有施設の整備・改修に際し、多目的トイレ、スロープ等を設置し、バリアフリー化を進めます。	すべての市立小学校及び中学校のトイレ改修工事により、廊下とトイレの段差解消を図るとともに、便器及び手洗いの一部に手摺を設置し、バリアフリートイレも設置しました。今後も利用しやすい公共施設をめざし、整備に努めてまいります。	現状維持： これまでの取組を継続する
	道路公園管理課	公園の整備・改善	すべての利用者がより円滑に利用できるよう公園施設の更新、改修、撤去等を行い、バリアフリー化を順次進めます。	開発行為に伴う提供公園の計画段階において、バリアフリー化の指導を行います。	現状維持： これまでの取組を継続する
	土木政策課	駅及び周辺のバリアフリー化	障害者が安全で快適に移動できるよう、「枚方市交通バリアフリー基本構想」等に基づき、今後も歩道段差の解消、点字ブロックの敷設など歩道のバリアフリー化を図るとともに、利便性や安全性の向上促進を図るため関係機関等との連絡調整を行います。	障害者の安全で快適な移動の実現に向け、利便性や安全性の向上促進を図るため、関係機関等との連絡調整を行いました。具体的には、当事者及び交通事業者等で構成する「枚方市バリアフリー推進協議会」において、国のバリアフリーに関する制度等の情報共有や、道路特定事業計画に基づく事業及び各事業者のバリアフリーに関する事業について、進捗状況の確認をハード・ソフトの両面から実施し、スパイラルアップによる効果的な事業推進を図りました。	現状維持： これまでの取組を継続する

		けいかく 計画		ちゅうかんそうかつみこみ 中間総括見込み	
しやく きてい 施策の基 ん もくひよう 本目標	しよかん か 所管課	しやくめい 施策名	とく 取り組み	れいわ ねんどまつ 令和5年度末における取組の総括	こんご ほう 今後の方 こう 向
(1) バリアフリーの整備	どうろかせん 道路河川 せいび か 整備課	えきおよ しようへん 駅及び周辺のバ アフリー化	しょうがいしゃ あんぜん かいてき いど 障害者が安全で快適に移 動できるよう、「枚方市交 通バリアフリー基本構想」 など もと こんご ほう 等に基づき、今後も歩道 段差の解消、点字ブロック の敷設など歩道のバリア フリー化を図るとともに、 りべんせい あんぜんせい こうじようそく 利便性や安全性の向上促 進を図るため関係機関等 との連絡調整を行いま	い か ねんど かくえきしゅうへんちく しどうろせん 以下の年度、各駅周辺地区の市道路線において障害者並びに高齢者が安全かつ円滑に通行すること を目的に、視覚障害者誘導用ブロックの設置や歩道の改良等のバリアフリー化整備工事を実施しまし た。 また、市内一円の踏切前に視覚障害者用誘導標示設置工事を実施しました。 平成29年度は長尾駅・藤阪駅周辺地区の枚方藤阪線及び津田藤阪線 平成30年度は御殿山駅周辺地区の磯島北町第1号線 令和元年度は御殿山駅周辺地区の渚第1号線（駅前広場） 令和2年度は宮之阪駅周辺地区の宮之阪第13号線 令和3～4年度は宮之阪駅周辺地区の禁野第3号線 令和4年度はJR学研都市線3箇所、京阪本線4箇所、京阪交野線1箇所	げんじよういじ 現状維持： これまでの とりくみ け 取組を継 いぞく 続する
	どうろこうえん 道路公園 かんり か 管理課	ほ どうかんきよう かいぜん 歩道環境の改善	しょうがいしゃ つうこう さまた 障害者の通行の妨げとな る放置自転車や違法駐 車、不法占用物を撤去す るとともに、市民啓発を進 めます。	ほうち じてんしゃ など てつきよおよ しみん けいはつ すず ・放置自転車等の撤去及び市民啓発を進めます。 ふほう せんようぶつ てつきよおよ しみん けいはつ すず ・不法占用物の撤去及び市民啓発を進めます。	げんじよういじ 現状維持： これまでの とりくみ け 取組を継 いぞく 続する
	こうつうたいさく 交通対策 か課			ひらかたしえき しゅうへん ・枚方市駅周辺を「めいわく駐車防止重点地域」とし、自動車および50cc超のバイクに対し、交通指導 員によるめいわく駐車防止の啓発の実施。 ちようふしやりようだいすう ねんど だい ねんど だい ねんど だい ねんど だい ねんど だい チラシ貼付車両台数、H29年度4,141台・H30年度4,818台・R1年度4,581台・R2年度3,569台・R3年度 2,883台・R4年度2,548台・R5年度（想定）2,000台 ・条例に基づき、鉄道駅周辺に放置している自転車、ミニバイク（50cc以下）の指導・傾向・移送の実 施。 けいこくしやりようだいすう ねんど だい ねんど だい ねんど だい ねんど だい ねんど だい ねんど だい 警告車両台数H29年度15,847台・H30年度12,083台・R1年度12,207台・R2年度12,000台・R3年度8,418 台・R4年度8,764台・R5年度（想定）8,500台、移送台数H29年度2,085台・H30年度1,950台・R1年度1,902 台・R2年度1,012台・R3年度681台・R4年度933台・R5年度（想定）900台	げんじよういじ 現状維持： これまでの とりくみ け 取組を継 いぞく 続する

		けいかく 計画		ちゅうかんそうかつみこみ 中間総括見込み	
しやく きてほ 施策の基 ん もくひょう 本目標	しよかん か 所管課	しやくめい 施策名	とく 取り組み	れいわ ねんどまつ 令和5年度末における取組の総括	こんご ほう 今後の方 こう 向
	こうつうたいさく 交通対策 か 課	こうつうあんぜんし せつ 交通安全施設の せつち 設置	どうろこうつうかんきよう かいぜん ほか 道路交通環境の改善を図 るため、ガードレール、 カーブミラーなど交通安全 しせつ せいび すず 施設の整備を進めます。	こうつうあんぜんしせつせいび じつし 交通安全施設整備の実施 ・安全柵(H29年度53m・H30年度177m・R1年度130m・R2年度1,399m・R3年度157m・R4年度1,220m)、 カーブミラー(H29年度47基・H30年度60基・R1年度63基・R2年度35基・R3年度32基・R4年44基)、区画 線(H29年度14,208m・H30年度16,263m・R1年度16,661m・R2年度20,724m・R3年度21,631m・R4年度 16,009m)、ポストコーン(H29年度32本・H30年度20本・R1年度63本・R2年度35本・R3年度39本・R4年度 42本)、道路照明(H29年度4か所・H30年度4か所・R1年度2か所)、歩道改良(H29年度69m・H30年度 22m・R1年度1か所・R2年度128m・R3年度33m・)、側溝改修(H29年度245m・H30年度97m、R1年度 33m、R2年度37m)、イメージハンプ(H30年度60か所・R1年度24か所)、交差点車両乗り上げ対策(R1 年度3交差点、R2年度8交差点、R3年度10交差点、歩道切り下げ(R1年度1か所)、ロータリー改良(R1 年度1か所)	げんじょういじ 現状維持： これまでの とりくみ け 取組を継 いぞく 続する
(1) バ リ ア フ リ ー の 整 備	しょうがいしえん 障害支援 か 課	ふくししやう 福祉移送サービス	しょうがいしや しやかいさんか きかい 障害者の社会参加の機会 を拡充するため、サービス の提供事業者の確保と共 同配車センターの充実に つと 努めます。	ふくし いそう 福祉移送サービスに9事業者(見込み数)が登録を行い、移送サービスを提供しています。また、共同 配車センターへは、3事業者(見込み数)が登録を行い、サービスを提供することで、障害者の社会参加 の機会の拡充に取り組みしました。	げんじょういじ 現状維持： これまでの とりくみ け 取組を継 いぞく 続する
	しょうがいきかく 障害企画 か 課	グループホームの かくじゆう かいぜん 拡充・改善	しんきかいせつ ていいんぞうか 新規開設や、定員増加を 伴う整備を行う事業者へ しえん おこな 支援を行い、グループ ホームの整備促進を図り ます。	市内にグループホームを新規に開設、又は定員を増加するための増設をする事業を行う際に、枚方市 グループホーム新規開設等整備補助金を交付することにより、グループホームの整備を図るとともに、 しょうがいしや ちいきいこうそくしん はか 障害者の地域以降促進を図りました。なお、令和5年度より、市内のグループホームにおいてより重 度の障害者の地域移行を促進できるよう要綱改訂を行い、名称を枚方市グループホーム重度障害者 対応改修補助金と変更しました。	げんじょういじ 現状維持： これまでの とりくみ け 取組を継 いぞく 続する
	しょうがいしえん 障害支援 か 課	じゆうたくかいぞうじよせい 住宅改造成助成	じゆうどしょうがいしや たい じゆうたく 重度障害者に対する住宅 改造成の一部助成につい ては、さらなる周知を図 り、利用の促進に努めま す。また、必要な対象者が より活用しやすい要件とす るなど、制度拡充をめざし ます。	さぎょう りやうほうし りがく りやうほうし とう しょういん 作業療法士、理学療法士等の職員によるリフォームチームが利用者のニーズに応じた効果的な住宅 改造成となるよう提案や相談・助言を行いました。本制度の実施により、障害者及び介護者の日常生活 での安全性・利便性の向上に繋がるよう取り組みました。	げんじょういじ 現状維持： これまでの とりくみ け 取組を継 いぞく 続する

	しょうがいきかく 障害企画 か 課	す 住まいに かん する相 だん じょうほうていきよう 談と情報提供	じゅうたく ふく 住宅を含めた生活全般に かん する相談を、市内の相 だんし えんじぎょうしゃなど 談支援事業者等で実施し ていくとともに、情報収集・ うていきようつと 提供に努めます。	れいわ ねん がつ 令和3年4月に新たに開設された相談支援センターを含む市内7か所の相談支援センター及び、市内 の相談支援事業者等で、住宅を含めた生活全般の相談を実施しました。また、福祉事務所 障害企画 課においても、情報収集・提供に努めました。	げんじょういじ 現状維持： これまでの とりくみ け 取組を継 いぞく 続する
--	----------------------------	--	---	--	--

2 保育・療育・教育の充実

		計画		中間総括見込み	
施策の基 本目標	所管課	施策名	取り組み	令和5年度末における取組の総括	今後の方 向
(1) 保育・療育・教育の充実	母子保健課	乳幼児健康診査の推進	乳幼児健康診査・新生児聴覚検査において、障害の早期発見・早期対応に努めます。また、健診時やその後のフォローを通じて保護者の育児支援に努めます。	乳幼児に対して、各時期に健康診査を実施し、疾病や障害の早期発見・早期対応を図り、その保護者に対して子育てに関する相談・保健指導を実施しました。 保健センターでの集団健康診査(4か月児健康診査、1歳6か月児健康診査、2歳6か月児歯科健康診査、3歳6か月児健康診査)、府内医療機関での個別健康診査(乳児一般健康診査、乳児後期健康診査)を実施し、経過観察が必要な場合は、小児神経科医や児童精神科医等による二次健診及び心理相談員による個別発達相談を実施しました。平成28年4月より、1歳6か月児健康診査、2歳6か月児健康診査、3歳6か月児健康診査については、大阪府作成の「発達障がい早期発見のための問診項目手引書」にそって改訂した問診票を使用し、必要な支援につなげています。また、聴覚障害の早期発見、早期療育を目的に、新生児聴覚検査の費用助成を行っています。	現状維持：これまでの取組を継続する

		けいかく 計画		ちゅうかんそうかつみこみ 中間総括見込み	
しやく せは 施策の基 ん もくよう 本目標	しよかん か 所管課	しやくめい 施策名	とく 取り組み	れいわ ねんどまつ 令和5年度末における取組の総括	こんご ほう 今後の方 こう 向
(1) 保 育・療 育・教 育の充 実	ほ し ぼ けん 母子保健 課	そうきたいおう じゅうじつ 早期対応の充実	けんこうしんさとう けつか はったつ 健康診査等の結果、発達 の経過観察が必要な子ど もと保護者に対し、発達相 談等において助言・指導 を行い、必要に応じて療 育や医療との連携を図り ます。また、にゅうようじけんこうしん 乳幼児健康診 査事後指導事業(親子教 室)においては、小集団で の親子の保育を通じて、 保護者の育児支援等、早 期の対応に努めます。医 療機関から在宅生活へ移 行する身体障害児及び長 期療養児については、退 院前から医療機関と連携 し、退院後も円滑に医療・ 療育が受けられるよう支 援します。	けんこう しんさ けつか はったつ けいか かんさつ ひつよう こ ぼごしゃ たい しやうに しんけいか い じどう せいしんかい 健康診査の結果、発達の経過観察が必要な子どもと保護者に対し、小児神経科医や児童精神科医に よる二次健診及び心理相談員による個別発達相談、保健師による家庭訪問を実施しました。 けいぞくてき こべつ しえん ひつよう おも こ ぼごしゃ たい にゅうようじ けんこう しんさ じご しどう じぎょう お 継続的な個別支援が必要と思われる子どもと保護者に対しては、乳幼児健康診査事後指導事業(親 子教室事業)を実施しました。通室は週に1回行うものとし、子どもの年齢や発達の特徴からグループ 分けを行っています。保育内容は各グループの特徴に応じて設定し、保護者の育児支援に努めまし た。 また れいわ ねんど にゅうじ こうき けんこう しんさ うんどうはったつ けいか かんさつ ひつよう はんだん こ 令和5年度においては乳児後期健康診査で運動発達に経過観察が必要と判断された子どもとそ の保護者に早期から切れ目ない支援を行うことを目的に、新たなグループを立ち上げました。 りよういく いりよう ひつよう ばあい いりよう きかん こ はったつ しえん など しやうかい れんけい はか 療育や医療が必要な場合には、医療機関やひらかた子ども発達支援センター等へ紹介し、連携を図り ました。 いりよう きかん たいいんご けいぞく いりようてき ひつよう こ たいいんまえ いりよう きかん ほうもん 医療機関から退院後、継続して医療的ケアが必要な子どもについては、退院前から医療機関や訪問 看護ステーション等と連携し、円滑に在宅生活へ移行できるよう支援しました。	げんじよういじ 現状維持: これまでの とくみ け 取組を継 いぞく 続する

		けいかく 計画		ちゅうかんそうかつみこみ 中間総括見込み	
しやく きてい 施策の基 ん もくひよう 本目標	しよかん か 所管課	しやくめい 施策名	とく 取り組み	れいわ ねんどまつ 令和5年度末における取組の総括	こんご ほう 今後の方 こう 向
(1) 保 育・療 育・教 育の充 実	しょうがいしえん 障害支援 課	りよういく じゅうじつ 療育の充実	こべつりよういく ほ ごし めい どう 個別療育、保護者指導 等、きめ細かな療育の提 供を対象児童に行いま す。市立ひらかた子ども発 達支援センターにおいて は、日々の生活を基盤とし た個別・集団的な療育を 実施するほか、医師の指 示の下、理学療法・作業 療法・言語聴覚療法を用 いて、個々の状況に応じ たリハビリテーションを実 施し療育の充実に努めま す。	けんしん しんがくどう しょうがいじ じようきよう あ かんけいせきかん じようほう ひきつ どう れんけい おこな 検診、進学等障害児の状況に合わせ、関係機関にてケース情報の引継ぎ等の連携を行います。また、 「枚方市障害児等関係機関連絡会議」を概ね2ヶ月に1回開催(実務者会議、代表者会議)し、参加関係 機関から、報告及び情報の共有を行います。教育分野の障害児支援についてや、留守宅の巡回相談 に関する知識の向上を図ります。進路担当者と障害支援課、障害者相談支援センター等で進路相談 会を開催し、障害福祉制度の説明を行います。	げんじよういじ 現状維持： これまでの 取組を継 続する
	ひらかた 子ども発 達支援セ ンター			しりつ こ ぼつたつしえん つうしよじ たい しょうがいじそうだんしえん けいかく 市立ひらかた子ども発達支援センターにおいては、通所児に対して、障害児相談支援でたてた計画を もと ひび せいかつ きばん こべつ しゅうだんてき ほいく りよういく じっし か なか げんていてき 元に日々の生活を基盤とした個別・集団的な保育・療育を実施しました。また、コロナ禍の中で限定的 であった他園との交流についても、新型コロナウイルス感染症が5類に位置付けられたことを踏まえ、 こうりゅう はば ひろ じっし いし もと りがくりようほう さぎようりようほう げんごちようかくりようほう もち 交流の幅を広げ実施しました。このほか、医師の指示の下、理学療法、作業療法、言語聴覚療法を用 いて、個々の状況に応じたリハビリテーションを実施しました。	げんじよういじ 現状維持： これまでの 取組を継 続する

		けいかく 計画		ちゅうかんそうかつみこみ 中間総括見込み	
しやく きてい 施策の基 ん もくひょう 本目標	しよかん か 所管課	しやくめい 施策名	とく 取り組み	れいわ ねんどまつ 令和5年度末における 取り組みの総括	こんご ほう 今後の方 こう 向
(1) ほいく・ れいきょう・ きょういくの ちゅうじつ 保育・療育・ 教育の充実	ひらかた こほっ 子ども発 達支援セ ンター	ちいきりょういく すいしん 地域療育の推進と ちいき れんけい 地域との連携	しりつ こ ほったつ 市立ひらかた子ども発達 支援センターにおいては、 しえん 発達上支援を必要とする 子どもとその保護者を対 象に、「地域支援事業」を 実施し、遊びや集団の場 を通じて経験を広げ、子 どもの成長と保護者の子 ども理解の促進に努めま す。また、子どもの発達や 障害についての理解を深 め、成長や発達に見通し をもってもらふことを目的 に、子育て講座を実施しま す。母子保健課において、 ざいたく しょうがいじ たい いし 在宅の障害児に対して医 師等専門職による相談・ 助言等を行うとともに、地 域療育と連携を図ります。	しりつ こ ほったつしえん しえん ひつよう こ 市立ひらかた子ども発達支援センターにおいては、支援を必要とする子どもとその保護者に対し、集団 あそ ば ちいきこそだ しえんじぎょう じっし 遊びの場として「地域子育て支援事業“すくすく”」を実施しました。すくすくの定員については、新型コロナ ウイルス感染症の感染対策として、1グループの定員を制限してきましたが、感染状況及び通所希 う かんせんしょう かんせんたいさく ていいん せいげん 望ニーズを踏まえ、定員やグループ数を増やし運営しました。また、発達上支援や配慮が必要な子ども について、同じ悩みを持つ保護者が語り合う場としてすくすく懇談会を開催しました。子どもの発達や障 害についての理解を深め、成長や発達に見通しをもっといただくことを目的として、子育て講座を開催 し地域療育の推進に努めました。	げんじょういじ 現状維持： これまでの とくみ け 取組を継 いぞく 続する
	ほし ほけん 母子保健 課			しんたいしょうがいじ ちようきりょうようじ たい いし しか いし りかく りょうほうし きぎょう りょうほうし げんごちようかくし しんり そうだん 身体障害児や長期療養児に対し、医師、歯科医師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、心理相談 いん ほけんし らいしよ そうだん ほうもん しどう じっし 員、保健師による来所相談や訪問指導を実施しました。	げんじょういじ 現状維持： これまでの とくみ け 取組を継 いぞく 続する

		計画		中間総括見込み	
施策の基 本目標	所管課	施策名	取り組み	令和5年度末における取組の総括	今後の方 向
(1) 保育・療育・教育の充実	母子保健課	関係機関との連携	母子保健課、療育機関、保育所(園)、幼稚園等から小学校、小学校から中・高等学校、中学・高等学校から進学先・就職先、就職先から福祉施設へと発達障害のある児童を含め障害児童のニーズに応じた進路の選択が行えるよう、庁内及び関係機関との連携を図ります。また、枚方市障害児等関係機関連絡会議において、障害のある児童及びその周辺の児童(健診等でフォロー児童等)並びにその家族が抱える様々な問題に対して、情報交換、意見交換等を行い、関係機関の連携を図ります。支援度合いが高い障害児や高次脳機能障害児についても必要な情報共有を図っていきます。	療育機関、保育所(園)、幼稚園、小学校等への就園・就学にあたり、ニーズに応じた進路選択ができるよう、関係機関と連携を図りながら保護者支援に努めました。また、枚方市障害児等関係機関連絡会議においては、事務局メンバーとして会議の運営に携わりながら、関係機関の連携に努めました。	現状維持： これまでの 取組を継続する
	障害支援課			検診、進学等障害児の状況に合わせ、関係機関にてケース情報の引継ぎ等の連携を行います。また、進路担当者と障害支援課、障害者相談支援センター等で進路相談会を開催し、障害福祉制度の説明を行います。	現状維持： これまでの 取組を継続する
	公立保育幼稚園課			小学校へ入学する児童については、入所していた保育所等から児童に関する要録を小学校へ送付し、また、校長会や私立保育所(園)等とも意見交換を行うなどの取り組みを行いました。発達相談を利用している児童の場合、保護者を通じて小学校への情報提供を行うなどの取り組みも行い、関係機関との連携を図ることができました。	現状維持： これまでの 取組を継続する
	ひらかた子ども発達支援センター			「枚方市障害児等関係機関連絡会議」については、大阪府立交野支援学校四條畷校を新たに構成機関に加え、各機関の現状や新たな取組み等について情報共有し、連携につなげると共に機関向け研修を実施しました。また、障害や発達上支援を必要とする子どもや保護者が受けることができる公的な制度や支援の内容、相談できる機関等をまとめた「福祉・教育のてびき」子ども版の改訂作業に取り組みました。	現状維持： これまでの 取組を継続する

		計画		中間総括見込み	
施策の基 本目標	所管課	施策名	取り組み	令和5年度末における取組の総括	今後の方 向
(1) 保育・療育・教育の充実	児童生徒 支援課	関係機関との連携	母子保健課、療育機関、 保育所(園)、幼稚園等か ら小学校、小学校から中 学・高等学校、中学・高等 学校から進学先・就職先、 就職先から福祉施設へと 発達障害のある児童を含 め障害児のニーズに応 じた進路の選択が行える	就学前施設、小学校、中学校、高等学校と連携をしていき、個々のニーズに沿った支援ができるように 個別の教育支援計画や個別の指導計画を作成し、支援に努めます。	現状維持： これまでの 取組を継 続する
	放課後子 ども課		よう、庁内及び関係機関と の連携を図ります。また、 枚方市障害児等関係機関 連絡会議において、障害 のある児童及びその周辺 の児童(健診等でフォロー 児童等)並びにその家族 が抱える様々な問題に対 して、情報交換、意見交換 等を行い、関係機関の連 携を図ります。支援度合 いが高い障害児や高次脳 機能障害児についても必 要な情報共有を図ってい きます。	障害のある児童や発達面・生活面などで気がかりのある児童に対して、スムーズな受け入れや適切な 保育を実施するために、入室前に放課後子ども課が保護者に対して、電話で児童の発達状況を聞き取 りを行った。聞き取った内容は、課内職員、児童会室職員、ブロック(地域)担当と共有を行うとともに、 保護者の了解の下、出身保育所(園)・幼稚園、及び学校等との情報交換を行い、連携を行った。	拡充：取組 を発展・拡 充させる

		けいかく 計画		ちゅうかんそうかつみこみ 中間総括見込み	
しやく きてい 施策の基 本目標	しょかん か 所管課	しやくめい 施策名	とく 取り組み	れいわ ねんどまつ 令和5年度末における取組の総括	こんご ほう 今後の方 向
(1) 保 育・療 育・教 育の充 実	こうりつ ほう いく 公立保育 幼稚園課	ほう いく しやうがく ますきやう いく 保育と就学前教育 の充実	ほう いく しよ えん やうち えん など 保育所(園)・幼稚園等に おいて、「ともに生き、共に 育つ」保育を実施すると もに、職員の研修や必要 な人材の配置等により、 障害のある子どもの支援 体制の強化を図ります。	こうしりつ ほう いく しよ えん しやうだん ほう いく ひつよう しやうがい じ とも い とも そだ ほう いく すいしん 公私立保育所(園)において、集団保育を必要とする障害児に、「共に生き、共に育つ」保育を推進し、 保育所入所後のフォローとして、巡回相談・保育相談を実施しました。また、障害児保育に係わる職員 の保育の質の向上を目指し、毎年、障害児保育担当保育士研修会、障害児保育研修会を実施し、障 害のある子どもの支援体制の強化を図ることができました。	げんじょういじ 現状維持： これまでの 取組を継 続する
	こ ちう 子ども相 談課			こ はったつ しえん いらい う はったつじょうきやう ふ しどう しやうがい たい じよげん ほういくし 子ども発達支援センターから依頼を受けて、発達状況を踏まえた指導や障害に対する助言を保育士に 行うために、私立保育所(園)への訪問による保育相談を実施します。実施予定頻度は、年2回、実施 園9園、訪問延べ日数36日、実施延べ人数200人。	げんじょういじ 現状維持： これまでの 取組を継 続する
	きやういぐけんしゆ 教育研修 課			しやうちゆうがっこうきやういん しえんきやういぐ たいしやう けんしゆう しえんきやういぐけんしゆう さんか 小中学校教員とともに支援教育コーディネーターを対象とした研修や支援教育研修へ参加。	げんじょういじ 現状維持： これまでの 取組を継 続する

		けいかく 計画		ちゅうかんそうかつみこみ 中間総括見込み	
しやく きてい 施策の基 ん もくひょう 本目標	しよかん か 所管課	しやくめい 施策名	とく 取り組み	れいわ ねんどまつ 令和5年度末における取組の総括	こんご ほう 今後の方 こう 向
(1) 保 育・療 育・教 育の充 実	しょうがい かく 障害企画 か 課	ほうか ごとう 放課後等デイス サービス の充実	しょう ちゅう こうとうがっこう しょうがく 小・中・高等学校に就学す る障害児の授業終了後や 学校の休業日に、生活能 力の向上のために必要な 訓練や支援を行い、療育 の充実を図ります。	ほうかごとう 放課後等デイスサービス事業は、新規事業者の参入により年々事業所数は増加しています。それに伴い サービスの提供も充足され、支給決定者数、利用日数とも年々増加しています。	げんじょういじ 現状維持： これまでの とくみ け 取組を継 いぞく 続する
	しょうがい かく 障害企画 か 課	にっちゅういちしえんじぎょう 日中一時支援事 業の充実	りよう うんよう つと 利用しやすい運用に努 め、サービスの充実を図り ます。	にっちゅういちじ しえん じぎょう しゃ さんにゆう ともな 日中一時支援事業は、新規事業者の参入に伴い、サービスの提供も充足され、支給決定者数、利用 日数とも年々増加しています。	げんじょういじ 現状維持： これまでの とくみ け 取組を継 いぞく 続する
	ほうかご こ 放課後子 ども課	るすかていじどうかい 留守家庭児童会 室運営事業	へいせい ねんど だいい かくねん 平成30年度より、第1学年 から6学年まで全学年の 児童の受け入れを行って います。障害のある児童 については、職員の研修 や職員の配置、また学校 との連携等により、保育環 境や支援の充実を図りま す。	るすかていじどうかいしつ 留守家庭児童会室では、障害のある児童等の受け入れにあたり、室全体の運営状況を踏まえて適切 な人員の配置や学校との連携等を行うとともに、放課後の遊び及び生活の場の提供などの支援に取り 組みました。	かくじゅう とくみ 拡充：取組 を発展・拡 充させる

		けいかく 計画		ちゅうかんそうかつみこみ 中間総括見込み	
しやく きてい 施策の基 ん もくひょう 本目標	しよかん か 所管課	しやくめい 施策名	とく 取り組み	れいわ ねんどまつ 令和5年度末における取組の総括	こんご ほう 今後の方 こう 向
(1) ほいく・りょういく・きょういく 保育・療育・教育の充実	じどうせいと 児童生徒 しえん か 支援課	しょうがい じどう 障害のある児童 きょういく じゅうじつ への教育の充実	しょう ちゅうがつかう こべつ 小・中学校において、個別 きょういくしえんけいかくなど かつよう の教育支援計画等を活用 し、しょうがい じどうなど の障害のある児童等の ニーズに応じた適切な教 育を行えるように努めま す。また、教職員研修の じゅうじつ しえん がっこう 充実や、支援学校などの スタッフ及び専門家による じゅんかいそうだん かつよう 巡回相談を活用しながら、 きょういく じゅうじつ はか 教育の充実を図っていま す。	しょうがい じどうせいと たい しえん じゅうじつ ○障害のある児童・生徒に対する支援の充実について しえんきょういく しえんじゅうじつじぎょう かいけい ねんど にんようしよくいんこうし はいち ・支援教育コーディネーター支援充実事業(会計年度任用職員講師の配置) したいにじゅうじ かいじょいん がっこうかんごし とくべつしえんきょういくしえんいん はいち ・肢体不自由児介助員・学校看護師・特別支援教育支援員の配置 しょうがいじ きのうかいふく くねれんじぎょう りがくりょうほうし げんごちようかくし きぎょうりょうほうし はけん ・障害児機能回復訓練事業(理学療法士、言語聴覚士、作業療法士の派遣) ・セルフわらしべ乗馬体験事業 しきょうい しゅざい きょうしよくいんけんしゅう じゅうじつ ○市教委主催の教職員研修の充実について しえんきょういくけんしゅう かい ・支援教育研修 3回 しえんきょういく けんしゅう かい ・支援教育コーディネーター研修 3回 つうきゅうしどう じっせんけんしゅう かい ・通級指導実践研修 1回 せんもんかどう がっこうしえん じゅうじつ ○専門家等による学校支援の充実について しえんきょういく がっこうえん しえんじぎょう しょうちゅうがっこう せんもんかどう はけん ・支援教育学校園支援事業(小・中学校への専門家等の派遣) おおさかふりつしえんがっこう じゅんかいそうだん ・大阪府立支援学校コーディネーターによる巡回相談 つうきゅうしどうきょうしつたんとうしゃ じゅんかいそうだん ・リーディングチーム(通級指導教室担当者)による巡回相談	げんじよういじ 現状維持： これまでの とりくみ け 取組を継 いぞく 続する

		けいかく 計画		ちゅうかんそうかつみこみ 中間総括見込み	
しやく きてい 施策の基 ん もくひょう 本目標	しよかん か 所管課	しやくめい 施策名	とく 取り組み	れいわ ねんどまつ 令和5年度末における とりぐみ とうかく 取組の総括	こんご ほう 今後の方 こう 向
(1) ほいく・りょういく 保育・療育・ きょういく 教育の充実	きょういけんしゅう 教育研修 か 課	しょうがい じどう 障害のある児童 とう きょういく じゅ 等への教育の充 うじつ 実	しょう ちゅうがっこう こべつ 小・中学校において、個別 きょういくしえんけいかくなど かつよう の教育支援計画等を活用 しょうがい じどうなど し、障害のある児童等の ニーズに応じた適切な教 育を行えるように努めま す。また、教職員研修の じゅうじつ しえん がっこう 充実や、支援学校などの およ せんもんか スタッフ及び専門家による じゅんかいそうだん かつよう 巡回相談を活用しながら、 きょういく じゅうじつ ほか 教育の充実を図っていき ます。	しきょういししゅさい きょうしよくいんけんしゅう じゅうじつ 〇市教委主催の教職員研修の充実について(下記の研修を実施) しえんきょういく けんしゅう ・支援教育コーディネーター研修 しえんきょういくけんしゅう ・支援教育研修 ちゅうがっこうしよにんしやけんしゅう しょうがっこうしよにんしやけんしゅう ・中学校初任者研修・小学校初任者研修 しひふたんきょういんけんしゅう ・市費負担教員研修 ねんめ しょうちゅうがっこうきょうゆけんしゅう ・2年目小中学校教諭研修 ねんめ しょうちゅうがっこうきょうゆけんしゅう ・5年目小中学校教諭研修 しょうちゅうがっこう ねんけいけんしやけんしゅう ・小中学校10年経験者研修	げんじょういじ 現状維持： これまでの とりぐみ け 取組を継 いぞく 続する

		けいかく 計画		ちゅうかんそうかつみこみ 中間総括見込み	
しやく きてい 施策の基 ん もくひょう 本目標	しよかん か 所管課	しやくめい 施策名	とく 取り組み	れいわ ねんどまつ 令和5年度末における とりぐみ そうかつ 取組の総括	こんご ほう 今後の方 こう 向
(1) ほふく・りょういく・きょういくのちゅうじつ 保育・療育・教育の充実	しょうがいきかく 障害企画 か課	つうがくしえん じゅうじつ 通学支援の充実	つうがく こんなん じど ひとりで通学が困難な児 う たいしょう ほうごしや 童を対象として、保護者の しゅうろう びょうきりょうやうなど 就労や病気療養等のやむ え りゆう ばあい を得ない理由がある場合 つうがく に通学ガイドヘルパーを はけん つうがく しえん おこな 派遣し、通学の支援を行 います。	つうがく こんなん しゅうろう びょうきりょうやうなど え りゆう ほうごしや いっていきかん つうがく つ ひとりで通学が困難で、就労や病気療養等やむを得ない理由により保護者が一定期間通学に付き そ 添うことができない障害のある児童、生徒を対象に障害児通学支援事業を継続して実施しています。	げんじょういじ 現状維持： これまでの とりぐみ け 取組を継 いぞく 続する
	じどうせいと 児童生徒 しえん か 支援課	そうだん じっし ほうごしや 相談の実施と保護 者との連携	しょうがい こ ほうごしや 障害のある子どもの保護 者への相談を行うととも に、保護者と学校の連携 きょうか はか 強化を図ります。	でんわ めんだん きょういくそうだん じっし ほうごしや そうだん う ひつよう おう がっこう 電話や面談による教育相談を実施します。また、保護者の相談を受けるとともに、必要に応じて、学校 や関係機関との連携を図ります。	げんじょういじ 現状維持： これまでの とりぐみ け 取組を継 いぞく 続する
	じどうせいと 児童生徒 しえん か 支援課	しんろしどう じゅうじつ 進路指導の充実	かんけいきかん れんけい きょうか 関係機関との連携を強化 しながら、卒業後の進路 そつぎようご しんろ 選択の幅が広がるよう、 しんろしどう じゅうじつ はか 進路指導の充実を図りま す。	がつ がつ しょうちえん ほうくしどう ほうもん しゅうがくしどう じっし ・6月から10月にかけて、幼稚園、保育所等を訪問し、就学指導を実施します。 しょうがい ようじ じどう せいと しんろ じゅうぶん じょうほう ていきょう しんろ しえん つと しょうちゅう ・障害のある幼児、児童、生徒の進路について、十分な情報を提供し、進路の支援に努めます。小中学 がっこうえん れんけい ちゅうがっこうく ぜんたいしどうけいかく さくせい ゆめ こころざしも しゅたいてき みずか い かた かんが 校園で連携し、中学校校区で全体指導計画を作成し、夢や志を持ち主体的に自らの生き方を考えさせる ことができるよう努めます。 しょうがい ようじ・じどう・せいと りかい てきせつ しどう すいしん しえんがっこう かんけいきかん れんけい はか ・障害のある幼児・児童・生徒の理解や適切な指導の推進のため、支援学校や関係機関との連携を図 ります。	げんじょういじ 現状維持： これまでの とりぐみ け 取組を継 いぞく 続する

3 災害対策					
施策の基 んもくひよう 本目標	しよかん か 所管課	し さくめい 施策名	と く 取り組み	ちゅうかん そうかつ みこみ 中間総括見込み	
				れい わ ねん ど ま つ 令和5年度末における取組の総括	こんご ほう 今後の方 こう 向
(1) 自然災害	ききかんり 危機管理 たいさくすいしん 対策推進 か 課	ひなんこうどうようしえんしや 避難行動要支援 者の把握	ちいき ぼうさいけいかく もと 地域防災計画に基づき、 さいがいじ ひとつよう しえん じつ 災害時に必要な支援を実 し ひなんこうどうようしえ 施するため、避難行動要 んしや めいぼ さくせい 支援者名簿を作成してい ます。この名簿に登録され かた うち へいじようじ た方の内、平常時からの じょうほうていきよう どうい かた 情報提供に同意された方 について、消防、警察、民 んせいいん じしゅ ぼうさい そしき など 生委員、自主防災組織等 めいぼじようほう ていきよう へ名簿情報を提供してい ます。また、登録を希望さ しょうがいしやなど しんせい もと れた障害者等の申請に基 づき、緊急連絡先等の情 うほう どうろく さいがいじ よう え 報を登録する災害時要援 んごしや ひなんしえんじぎよう じつし 護者避難支援事業を実施 しています。	ひなん こうどうようしえん しや めいぼ さくせい 避難行動要支援者名簿を作成することにより、要支援者の把握を行っています。名簿登録対象者は、 かいご ほけん よう かいご にんていしや しんたいしやうがいしや てちよう きゅう こうふ ①介護保険の要介護3～5の認定者、②身体障害者手帳1・2級を交付されている身体障害者(児)、 りよういくてちよう こうふ ちてきしやうがいしや じ せいしんしやうがいしやほけん ふくし てちよう きゅう こうふ ③療育手帳Aを交付されている知的障害者(児)、④精神障害者保健福祉手帳1級を交付されている せいしんしやうがいしや じ しょうがいしやそうごう しえん ほう もと りよう しょう はんびようかんじや 精神障害者(児)、⑤障害者総合支援法に基づくサービスを利用している難病患者。	げんじよういじ 現状維持： これまでの とりくみ け 取組を継 いぞく 続する
	ちようじゆ か 長寿・介 いご ほけん か 護保険課			れい わ ねん ど さいがいじ ひなんこうどう ようしえんしや めいぼ 令和3年度に、災害時避難行動要支援者名簿システムを試行運用し、課題の洗い出しを行いました。 れい わ ねん ど ちいきぼうさいけいかく もと さいがいじ ひとつよう しえん じつし ひなんこうどうようしえんしや 令和4年度には、地域防災計画に基づき、災害時に必要な支援を実施するため、避難行動要支援者 めいぼ さくせい どうめいぼ どうさい かた うち へいじようじ じようほうていきよう どうい かた しょうほう 名簿を作成し、同名簿に登録された方の内、平常時からの情報提供に同意された方について、消防、 けいさつ みんせいいん じしゅぼうさいそしき など めいぼじようほう ていきよう 警察、民生委員、自主防災組織等へ名簿情報を提供しました。	げんじよういじ 現状維持： これまでの とりくみ け 取組を継 いぞく 続する

		けいかく 計画		ちゅうかんそうかつみこみ 中間総括見込み	
しやく きてい 施策の基 ん もくひよう 本目標	しよかん か 所管課	しやくめい 施策名	とく 取り組み	れいわ ねんどまつ 令和5年度末における取組の総括	こんご ほう 今後の方 こう 向
(1) 自然災害	けんこうふくし 健康福祉 せいさく か 政策課	ひなんこうどうようしえん 避難行動要支援 者の把握	ちいさ ぼうさいけいかく もと 地域防災計画に基づき、 さいがいじ ひつよう しえん じつ 災害時に必要な支援を實 施するため、避難行動要 支援者名簿を作成してい ます。この名簿に登録され た方、うち、へいじようじ た方、内、平常時からの じょうほうていきよう どうい 情報提供に同意された方 について、消防、警察、民 んせいはいん じしゆ ぼうさい そしきどう 生委員、自主防災組織等 へ名簿情報を提供してい ます。また、登録を希望さ れた障害者等の申請に基 づき、きんきゆうれんらくさきとう じよ 緊急連絡先等の情 報を登録する災害時要援 護者避難支援事業を実施 しています。	へいせい ねんど ひなんこうどうようしえんしや はあく もくてき しょうがいしやなど しんせい もと きんきゆうれんらくさき など じよ 平成18年度より、避難行動要支援者の把握を目的に、障害者等の申請に基づき緊急連絡先等の情 報を登録する災害時要援護者支援事業を実施しておりましたが、平成25年度の災害対策基本法の改 正により、避難行動要支援者の円滑かつ迅速な避難の確保のため、各自治体での作成を義務付けら れた避難行動要支援者名簿との一本化を行いました。(予定) 今後は、災害時に必要な支援をより円滑に実施するため、個別避難計画の作成対象者の協議に取り 組む予定です。	げんじよういじ 現状維持： これまでの とくみ け 取組を継 いぞく 続する
	しょうがいしえん 障害支援 か 課			へいせい ねんど まいねんど しんたいしやうがいしやてちやう きやう りやういくてちやう およ せいしんしやうがいしやほけんふくしてちやう きやう 平成29年度から、毎年度、身体障害者手帳1・2級、療育手帳A及び精神障害者保健福祉手帳1級の 所持者など、避難行動要支援者名簿の掲載対象となった方に対して、同意書を郵送し、同意を得られ た対象者の情報を掲載した名簿の整備を行いました。	げんじよういじ 現状維持： これまでの とくみ け 取組を継 いぞく 続する
	ほけんよぼうか 保健予防 課			じんこう こあやうき そうちやく きかん せつかい おこな なんびよかんじや さいがいじ あんびかくにん ひつよう しえん おこな 人工呼吸器の装着や気管切開を行っている難病患者について、災害時の安否確認や必要な支援を行 うため、災害時要援護者リストとして情報を管理しています。	げんじよういじ 現状維持： これまでの とくみ け 取組を継 いぞく 続する

		計画		中間総括見込み	
施策の基 本目標	所管課	施策名	取り組み	令和5年度末における取組の総括	今後の方 向
(1) 自然災害	危機管理 対策推進 課	防災意識の高揚と 地域での支援体 制づくり	防災について啓発を行う とともに、災害時の避難場 所や緊急時における連絡 方法等の周知を図りま す。また、自然な形で支援 を受けられるよう、日常的 な関係作りを含めた地域 支援体制の強化を図りま す。	近年増加している局地的豪雨に起因する内水氾濫や土砂災害、そして近い将来高い確率で発生が予 想されている南海トラフ巨大地震等に対しての啓発も必要であることから、各校区で実施される自主 防災訓練や、出前講座など、さまざまな機会をとらえ防災マップの紹介を行い、日頃からの備えや自 助、共助の重要性について継続して啓発を行っていきます。	現状維持： これまでの 取組を継 続する
	健康福祉 政策課			平成18年度より、避難行動要支援者の把握を目的に、障害者等の申請に基づき緊急連絡先等の情 報を登録する災害時要援護者支援事業を実施しておりましたが、平成25年度の災害対策基本法の改 正により、避難行動要支援者の円滑かつ迅速な避難の確保のため、各自自治体での作成を義務付けら れた避難行動要支援者名簿との一本化を行いました。（予定） 今後は、災害時に必要な支援をより円滑に実施するため、個別避難計画の作成対象者の協議に取り 組む予定です。	現状維持： これまでの 取組を継 続する
	障害支援 課			避難行動要支援者の市内小学校区ごとの名簿を整備した他、災害情報カードの配布にかえて、平成3 1年1月からヘルプカード（必要な支援や連絡先を記載）を配布し、障害者の安否確認から避難誘導、 避難所生活などへの配慮が可能となるよう体制整備に取り組みました。	現状維持： これまでの 取組を継 続する
	長寿・介 護保険課			令和3年9月4日の枚ひこ防 z2021（枚方市総合防災訓練）に参加し、枚方市総合福祉センターでの福 祉避難所開設における課題等の洗い出しを行いました。 令和4年度には、日常的な関係作りを含めた地域支援体制の強化について、避難行動要支援者名簿 プロジェクトチームで意見交換を行いました。	現状維持： これまでの 取組を継 続する

		けいかく 計画		ちゅうかんそうかつみこみ 中間総括見込み	
しやくきほ 施策の基 んもくひょう 本目標	しよかんか 所管課	しやくめい 施策名	とく 取り組み	れいわねんどまつ 令和5年度末における とりぐみ 取組の そうかつ 総括	こんご 今後の方 こう 向
(1) 自然災害	しょうがいしえん 障害支援 か 課	ヘルプカードの配 いふ 布	きんきゆうじ 緊急時や災害時、困った さいがいじ ときに、周囲の配慮や手 はいりよ 助けをお願いしやすくする す 「ヘルプカード」を配付しま はいふ す。	へいせい 平成31年1月から、災害情報カードに替えて、身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳 か を窓口で交付する際に、手帳とともにヘルプカードを配布しています。このカードに、支援が必要な事項 しえん を具体的に記載して所持していただくことで、災害時の避難生活等においても、より適切な支援が行わ ひなんせいかつとう れるように取り組みました。	げんじょういじ 現状維持： これまでの とりぐみ 取組を継 いぞく 続する
	しょうがいきかく 障害企画 か 課	きんきゆうつうほうそうち 緊急通報装置の せつち 設置	きんきゆうつうほうそうち 緊急通報装置の貸与事業 たいよじぎょう については、継続して事 けいぞく 業を実施し、ひとり暮らし じつし などの重度障害者の不安 じゅうどしょうがいしや 感の解消を図ります。	へいせい ひとり暮らしの身体障害者、知的障害者、精神障害者及び難病患者等に対して、緊急通報装置を貸与 か することにより、急病・災害等の緊急時における迅速かつ適切な対応を確保するとともに、ひとり暮らし きんきゆうつうほうそうち の不安解消を図ります。	げんじょういじ 現状維持： これまでの とりぐみ 取組を継 いぞく 続する
	しょうがいきかく 障害企画 か 課	かさいよほうてんけん 火災予防点検の すいしん 推進	ひとり暮らしなどの重度障 ぐ 害者世帯を対象とする火 じゅうどしよ 災予防点検事業について うがいせたい は、今後も、対象世帯の たいしやうせたい 把握に努めるとともに、利 はあくつと 用を促します。また、事業 うなが の周知を図ります。	れいわ 令和2年度まで、消防署、大阪ガスの協力を得て、事業を実施していましたが、電力自由化により大阪 しやうぼうしよ ガスによる火災予防点検事業は終了となりました。なお、4年に1回義務づけられている各事業者のガ きようりよくえ ス設備定期保安点検により、安全は担保されています。	しゅうりやう(か 終了(完了):事業 んりやう)じぎょう 目的を達 もくてき 成した取組 せい たつ 成した取組

		けいかく 計画		ちゅうかんそうかつみこみ 中間総括見込み	
しやく きてほ 施策の基 ん もくひょう 本目標	しよかん か 所管課	しやくめい 施策名	とく 取り組み	れいわ ねんどまつ 令和5年度末における取組の総括	こんご ほう 今後の方 こう 向
(1) 自然災害	ききかんり 危機管理 たいさくすいしん 対策推進 か 課	さいがい いじ 災害時における要 配慮者の支援と福 祉避難所の充実	ちい き ぼうさいけいかく もと 地域防災計画に基づき、 しょうがいしゃ あんびかくにん ひなん 障害者の安否確認、避難 ゆうどう ひなんじよせいいかつ 誘導、避難所生活におけ る配慮などの安全対策を てきかく じっし たいせい 的確に実施できる体制の せいび とく 整備に取り組みます。ま た、しょうがい とくせい おう た、障害の特性に応じた ひなんせいいかつ ふくし ひ 避難生活ができる福祉避 なんじよ じゅうじつとう とく 難所の充実等に取り組み ます。	ひなんこうどうようしえん めいぼ さくせい 避難行動要支援名簿を作成することにより、要支援者の把握を行っています。各校區の取組におい て、個人情報等の取り扱い等の課題があります。 へいじ めいぼ じょうほう ていきよう どうい たいしやうしゃ かん ちいき みんせいいいん とう めいぼ かつよう 平時には、名簿情報を提供することに同意している対象者に関して、地域民生委員等が名簿を活用 し、見守りや安否確認などに役立っています。 さいがい いじ どうい たいしやうしゃ かん ひなん しえん とう ひつよう はんい ひなん しえん とう かんけいしゃ 災害時には、同意していない対象者に関しても、避難支援等に必要な範囲において避難支援等関係者 に提供しています。 こんじん じょうほう と あつか とう もんだい ふく ひなんこうどうようしえん めいぼ かつよう けいぞく じぎょう じっし 個人情報等の取り扱い等の問題も含め、避難行動要支援名簿をより活用できるよう継続して事業を実施 します。	げんじょういじ 現状維持： これまでの とくみ け 取組を継 いぞく 続する
	けんこうふくし 健康福祉 せいさく か 政策課			へいせい ねんど ひなんこうどうようしえんしゃ はあく もくてき しょうがいしゃどう しんせい もと きんきゅうれんらくさき とう じよ 平成18年度より、避難行動要支援者の把握を目的に、障害者等の申請に基づき緊急連絡先等の情 報を登録する災害時要援護者支援事業を実施しておりましたが、平成25年度の災害対策基本法の改 正により、避難行動要支援者の円滑かつ迅速な避難の確保のため、各自自治体での作成を義務付けら れた避難行動要支援者名簿との一本化を行いました。(予定) また、さいがい いじ えんかつ ふくしひなんじよ かいせつ うんえい おこな きやうていしせつ かんけいしゃ ふくしひなん 災害時における円滑な福祉避難所の開設および運営を行うため、協定施設の関係者と福祉避 難所の運営に関する意見交換会を行い、各施設における福祉避難所の運営マニュアルの作成に取り 組みました。(予定)	げんじょういじ 現状維持： これまでの とくみ け 取組を継 いぞく 続する
	しょうがくし えん 障害支援 か 課			いっていいじやう しょうがい かた めいぼじょうほう ていきよう どういしよ ゆうそう ひなんこうどうようしえんしゃめいぼ 一定以上の障害のある方へ名簿情報の提供についての同意書を郵送し、避難行動要支援者名簿の 整備を行いました。また、関係課と連携して、名簿情報の提供に同意された方の名簿を、民生委員や じしゅぼうさいそしき ひなんしえんとうかんけいしゃ ていきよう おこな ほか かんけい かんけい ひなんこうどうよう 自主防災組織など避難支援等関係者へ提供を行いました。その他に、関係課と連携して、避難行動要 支援者名簿管理システムの導入し、運用しています。また、ようえんごしや しないしょうがっこう めいぼ こう 支援者名簿管理システムの導入し、運用しています。また、要援護者の市内小学校区ごとの名簿を更 しん ひつよう しえん れんらくさき きさい はいふ しょうがいしゃ あんびかくにん 新するとともに、ヘルプカード(必要な支援や連絡先を記載)を配布することで、障害者の安否確認から ひなんゆうどう ひなんじよせいいかつ はいりよ かのう たいせい せいび おこな 避難誘導、避難所生活などへの配慮が可能となる体制の整備を行っています。	げんじょういじ 現状維持： これまでの とくみ け 取組を継 いぞく 続する

		けいかく 計画		ちゅうかんそうかつみこみ 中間総括見込み	
しやくきほ 施策の基 んもくひょう 本目標	しよかんか 所管課	しやくめい 施策名	とく 取り組み	れいわねんどまつ 令和5年度末におけるとりくみ そうかつ 取組の総括	こんご 今後の方 こう 向
(1) 自然災害	ちようじゅてん 長寿・介護保険課	さいがいじ 災害時における要 はいりよしや 配慮者の支援と福 祉避難所の充実	ちいきぼうさいけいかく 地域防災計画に基づき、 しょうがいしや 障害者の安否確認、避難 ゆうどう 誘導、避難所生活におけ るはいりよ 配慮などの安全対策を てきかく 的確に実施できる体制の せいび 整備に取り組みます。ま た、しょうがい た、障害の特性に応じた ひなんせいかつ 避難生活ができる福祉避 難所 しよ 難所の充実等に取り組み ます。	れいわねんがつかひらほうず 令和3年9月4日の枚ひこ防'z2021(枚方市総合防災訓練)において、避難行動要支援者安否確認の くんれんおこな 訓練を行いました。同日、枚方市総合福祉センターで福祉避難所の開設訓練を行いました。 れいわねんど 令和4年度には、障害者の安否確認について、図上訓練を行いました。	げんじょういじ 現状維持： これまでの とりくみ 取組を継 いぞく 続する

		けいかく 計画		ちゅうかんそうかつみこみ 中間総括見込み	
しやく きてい 施策の基 ん もくひよう 本目標	しよかん か 所管課	しやくめい 施策名	とく 取り組み	れいわ ねんどまつ 令和5年度末における取組の総括	こんご ほう 今後の方 こう 向
(1) 自然災害	ほけんよぼうか 保健予防 課	なんびようかんじや・じゆうしやうし 難病患者・重症心 身障害児等への さいがい じ たいおう 災害時対応	していなんびようかんじや じかんじん 指定難病患者で24時間人 こうききゅうき そうちやく きかん 工呼吸器装着または気管 せつかい おこな かんじや 切開を行っている患者と かぞく じんこうききゅうき そう その家族、人工呼吸器装 ちやくくし かぞく たい 着児とその家族に対し、 ほけんし こべつ さいがいに 保健師が個別に、災害時 たいおう じゅんぴぶつ に対応できるよう準備物 こうどうかくにんとう じよげん おこな や行動確認等の助言を行 います。	じんこう こきゅうき そうちやく きかん せつかい おこな なんびようかんじや かていほうもん じっし さいがいに そな ひなんこうど 人工呼吸器の装着や気管切開を行っている難病患者への家庭訪問を実施し、災害時の備えや避難行 う かくにん おこな さいがいに あんびかくにん しえん かんり 動について確認を行っています。また、災害時の安否確認や支援のために管理している災害時要援護 者リストについて、適宜、情報の更新を行っています。	げんじよういじ 現状維持： これまでの とりくみ け 取組を継 いぞく 続する
	ぼし ほけん 母子保健 課			じんこう こきゅうき そうちやく じ かぞく たい たんどうほけんし かてい ほうもん こきゅうき しやう きしゆ 人工呼吸器装着児とその家族に対して、担当保健師が家庭を訪問し、呼吸器の使用機種やバッテリー うむ さいがいに じ たいおう じゅんぴぶつ りようしやうし さいがいに じ こうどう とう かくにん あら かてい はあく の有無、災害時に対応できる準備物、療養室、災害時の行動等を確認しています。新たに家庭を把握 した場合は、早期に訪問を実施できるよう努めています。	げんじよういじ 現状維持： これまでの とりくみ け 取組を継 いぞく 続する
(2) 感染症対策	しやうがいきかく 障害企画 課	きんきゆうつうほう じ しゆわ 緊急通報時手話 つうやく はけん じぎよう 通訳派遣事業(タ ブレット端末を利 用)	ちようかうがうがいしや しんがた 聴覚障害者が新型コロナ かんせんしやう うたが など ウィルス感染症の疑い等 かんせんしよたいさく きん の感染症対策のため、緊 きんきゆうしん さい しゆわ つうやくしや 急受診の際の手話通訳者 はけん 派遣について、タブレット たんまつなど りよう えんかくしゆ 端末等を利用した遠隔手 わ つうやく じっし 話通訳を実施します。	つうじよう ちようかく およ げんごきのうしやうがいしや かぞく びようきまた じこ きゅうきゆうしや とうせい ばあい など 通常は、ろう(聴覚)及び言語機能障害者とその家族が、病気又は事故により救急車を要請した場合等 きんきゆうつうほうじ けんちやうしや いしそつう えんかつ ひつよう きんきゆうつうほうじ しゆわ つうやくしや の緊急通報時において、健聴者との意思疎通を円滑にする必要があるときに緊急 通報 時手話 通訳 者を派遣します。しかし新型コロナウイルス感染症の疑い等あった場合は、通訳者と利用者の間感染 んしよぼうし たいさく たんまつなど りよう えんかくしゆわつうやく おこな れいわ ねんど じっせき ほうこく 症防止の対策してタブレット端末等を利用して遠隔手話通訳を行います。令和4年度の実績報告は、あ りません。	げんじよういじ 現状維持： これまでの とりくみ け 取組を継 いぞく 続する

3. 安心して生活できるサービスの確保と提供

1 地域生活への支援

		計画		中間総括見込み	
施策の基 本目標	所管課	施策名	取り組み	令和5年度末における取組の総括	今後の方 向
(1) 福祉サ ービス提 供体制の 充実と質 の向上	しょうがいきかく 障害企画 課	ほうもんけい 訪問系サービス	さまざまなしょうがいとくせい おう 様々な障害特性に応じて必 要なサービス提供ができるよ う、事業者と連携して、介護 者の人材の資質の向上に努 めます。	ホームヘルプ(居宅介護)や重度訪問介護、同行援護、行動援護の訪問系サービスについては、支給 決定人数、利用実績共に増加しており、今後も増加が見込まれることから、事業者と連携し、介護人材 の資質の向上に努めています。	現状維持: これまでの 取組を継 続する
	しょうがいきかく 障害企画 課	たんきにゅうしょ 短期入所サービス	じぎょうしょう しんきかいせつ ていいんぞ 事業所の新規開設や定員増 等について事業者に働きか けます。また、緊急利用や医 療ケアへの対応等様々な ニーズに対応したサービス の確保に努めます。	介護者の病気などの理由により宿泊を伴う短期間の介護が必要な人に対して支援を行う短期入所 については、利用日数が毎年増加しています。短期入所サービスについては、利用者のニーズが高くあ ることから、新規開設や定員増加について継続して事業者に働きかけています。	現状維持: これまでの 取組を継 続する
	しょうがいきかく 障害企画 課	にっちゅうかつどうけい 日中活動系サ ービス	りようしょう おう 利用者ニーズに応じた サービス提供の確保に努 めるとともに、事業者の支 援施策として既存事業者 の施設整備や定員増のほ か、新たな日中活動の場 の確保とこれを担う人 材の育成に努めます。	・令和5年度も引き続き、日中活動系サービスの事業所へ通所する在宅の精神障害者等に対して交通 費の一部を助成する、「枚方市障害者通所支援補助事業」を実施、通所サービスの活用を促すよう図 ります。 令和4年度は、給付実績:38事業所を利用する372人。 ・就労継続支援B型の事業所の新規整備に係る、枚方市障害者施設等整備費補助金の交付申請が 採択され、令和4年度に開設されました。	現状維持: これまでの 取組を継 続する

		けいかく 計画		ちゅうかんそうかつみこみ 中間総括見込み	
しやく きてい 施策の基 ん もくひよう 本目標	しよかん か 所管課	しやくめい 施策名	とく 取り組み	れいわ ねんどまつ 令和5年度末における取組の総括	こんご ほう 今後の方 こう 向
(1) 福祉サービス提供体制の充実と質の向上	しょうがいきかく 障害企画 か 課	グループホーム	じぎょうしゃ たい しん き かいせ 事業者に対し、新規開設 つとう かか せいびほじょう 運営 等に係る整備補助・運営 にかか しえん おこな に係る支援を行い、グ ループホームの整備促進 を図ります。また、世話人 の養成講座を実施し、人 材の確保・育成に努めま す。	れいわ ねんど ひらかたしちてきしょうがいしゃ せわにんようせいけんしゅう しゅうりょうしゃ たい けんしゅちゅうこうりょう ・令和3年度から「枚方市知的障害者グループホーム世話人養成研修」の修了者に対し、研修受講料 の一部、および市内グループホームに継続就労した際の補助金を新たに設けましたが、実績に乏しく、 さらに効果的な取り組みとなるよう、令和5年度からの見直しを図り、世話人の確保に努めました。 ・市内にグループホームを新規に開設、又は定員を増加するための増設をする事業を行うものへ交付 される枚方市グループホーム新規開設等整備補助金について、一定の効果は見られましたが、なお重 度障害者の受入れが課題として残っていることから、支給要件を見直し、令和5年度から重度障害者の 受入れ促進の強化を図りました。 ・生活支援員による共同生活援助の住居で日常生活上の援助を受けた利用者の障害程度に応じ て、交付される枚方市グループホーム運営費補助金について、一定の効果は見られましたが、なお重 度障害者の受入れが課題として残っていることから、支給要件を見直し、令和5年度から重度障害者の 受入れ促進の強化を図りました。	かくじゅう とりぐみ 拡充：取組 を発展・拡 充させる
	しょうがいきかく 障害企画 か 課	いどうしえん 移動支援	ぞうだい たようか りようしゃ 増大し多様化する利用者 ニーズに対応するため、 ガイドヘルパー養成研修 を実施する等、人材の確 保・育成に努めるととも に、利用対象者の範囲や 利用目的を見直すなど、 せいで りべんせいこうじょう つと 制度の利便性向上に努め ます。	へいせい ねんど しょうがいしゃじりつしえんほう かいせい う いどうしえんたいししょうしゃ はったつしょうがいしゃ じ ついか 平成24年度には、障害者自立支援法の改正を受け、移動支援対象者に発達障害者(児)を追加したほ か、移動支援における宿泊利用を可能とし利用拡大を行いました。また、平成25年度からは、障害者 総合支援法の一部改正を受け、移動支援対象者に難病患者等を追加しました。 地域での自立生活及び社会参加の促進を目的とし、屋外での移動が困難な障害者及び障害児に対 し、外出のための必要な支援を行うことため移動支援事業を継続して実施しています。 また、枚方市障害者ガイドヘルパー養成研修を毎年2回実施し、人材の確保と育成に努めます。	げんじょういじ 現状維持： これまでの とくりぐみ け 取組を継 いぞく 続する

		けいかく 計画		ちゅうかんそうかつみこみ 中間総括見込み	
しやく きてい 施策の基 ん もくひょう 本目標	しよかん か 所管課	しやくめい 施策名	とく 取り組み	れいわ ねんどまつ 令和5年度末における取組の総括	こんご ほう 今後の方 こう 向
(1) 福祉サービス提供体制の充実と質の向上	しょうがいきかく 障害企画 か 課	ちい きかつどうし えん 地域活動支援セン ター	がた たよう I型は、多様なニーズに たいおう 対応するための拠点とし て各地域の障害者支援の ちゅうしんてきやくわり 中心的役割としての機能を たか がた がた を高めます。II型・III型 は、創作的活動、生産活 つどう こうりゅう 動、交流の場等、障害者 の日常活動の場として、 けいかくてき せいび そくしん 計画的に整備を促進しま す。	ちい きかつどうし えん がた じぎょうしよ がた じぎょうしよ がた じぎょうしよ ひらかたしない ひらかたしよ 地域活動支援センター I型は6事業所、II型は1事業所、III型は2事業所が枚方市内にあり、枚方市 うが いしやちいきせい かつし えんじぎょう ほうじん うんえい いたく 障害者地域生活支援事業として8法人に運営を委託しています。 がたじぎょう そうさくてきかつどう せいさんかつどう しやかい こうりゅうそくしんとう がたじぎょう きのうくんれん しやかいでき III型事業では、創作的活動、生産活動、社会との交流促進等を、II型事業では、機能訓練や社会適 おうくんれんとう くわ がたじぎょう さら そうだんし えんじぎょう しやかいきぼん れんけい はか 応訓練等が加わり、I型事業では、更に相談支援事業、社会基盤との連携を図るとともに、ボランティ ア育成や障害に対する理解促進のための啓発事業等を実施しています。	げんじよういじ 現状維持： これまでの とりくみ け 取組を継 いぞく 続する
	しょうがいきかく 障害企画 か 課	にちじようせい かつようぐ ぼ 日常生活用具・補 装具	てきぎ とりあつかいひんもく きゅうふ げ 適宜、取扱品目や給付限 んどがく みなお など しよ 度額を見直す等して、障 うが いしや せいかつじつたい み あ 害者の生活実態に見合っ たサービス提供に努めま す。	た し じようきよう かくにん へいせい ねんど ぼちようきでんち れいわがんねんど へいねんどじんこうないじでんち れいわ 他市の状況を確認しながら、平成30年度から補聴器電池を、令和元年度からは人工内耳電池を、令和 ねんど ちようかうがうがいり たい じんこうないじおんせいしんごうそうち きゆうふたいしよ 3年度からは聴覚障害児に対し人工内耳音声信号装置を給付対象としました。また、令和2年度から かみ しきゅうようけん みなお とう しょうがいしや せいかつじつたい み あ ていきよう つと 紙おむつの支給要件を見直す等、障害者の生活実態に見合ったサービス提供に努めました。	げんじよういじ 現状維持： これまでの とりくみ け 取組を継 いぞく 続する

		けいかく 計画		ちゅうかんそうかつみこみ 中間総括見込み	
しやく きてい 施策の基 ん もくよう 本目標	しよかん か 所管課	しやくめい 施策名	とく 取り組み	れいわ ねんどまつ 令和5年度末における取組の総括	こんご ほう 今後の方 こう 向
(1) 障害福祉サービスの提供体制の確保と質の向上	しょうがいしえん 障害支援 か 課	こうれいしょうがいしや 高齢障害者の日 じょうせいかつしえん 常生活支援	こうれいしょうがいしや 高齢障害者のサービス利 う かいごほけん 用は介護保険が優先です が、介護保険にはない障 うがほけん 害特性に由来する必要な サービスを提供します。ま た、障害固有のニーズを しょうがいこ 考慮したサービス提供に つと 努めます。	しょうがいふくし 障害福祉サービス利用者の中で介護保険サービスが優先される方をあらかじめ把握した上で、事前に かいごにんてい 介護認定の促進をおこない、切れ目なくサービスが受けられるように心がけ、また、介護保険サービス にない障害福祉サービス固有のものや、障害特性によって障害福祉サービスでの提供が適切と判断し かた た方については、引き続き障害福祉サービスを提供します。	げんじょういじ 現状維持： これまでの とりにく 取組を継 いぞく 続する
	ふくししどう 福祉指導 かんさ 監査課	ふくしじぎょうしや 福祉事業者の指 しどうかんとう 定・指導監督	していしょうがいふくし 指定障害福祉サービス事 うしやとう 業者等の指定・指導監督 とう 等を行い、自立支援給付 たいしやう 対象サービス等の質の確 ほ 保及び自立支援給付の適 せい 正化を図ります。	しよかん 所管の指定障害福祉サービス事業者等を対象とした集団指導や指定時研修等を通じて、関係法令や せいど 制度の趣旨・目的、自立支援給付費にかかる算定要件等について周知しました。 また、個別の事業所に対して実施した実地指導では、令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防 止の観点から、運営基準に違反している疑いがある等、特に指導または監査が必要と認められる場合 に行いました。令和4年度は新型コロナウイルスの感染状況を勘案しながら、指定基準及び報酬基準 に沿った適切な運営・報酬算定が行われているか等の確認や改善指導等を行いました。 実地指導 令和3年度 1件、令和4年度 27件、令和5年度 53件(予定)	げんじょういじ 現状維持： これまでの とりにく 取組を継 いぞく 続する

		けいかく 計画		ちゅうかんそうかつみこみ 中間総括見込み	
しやく きてい 施策の基 ん もくひよう 本目標	しよかん か 所管課	しやくめい 施策名	とく 取り組み	れいわ ねんどまつ 令和5年度末における取組の総括	こんご ほう 今後の方 こう 向
(2) 多様なコミュニケーション	しょうがいきかくか 障害企画 課	かくしゅようせいこうざ 各種養成講座の じっし 実施	しゅわ ようやくひつき てんやく お 手話・要約筆記・点訳・音 んやろう こうしゅうかい じっし 訳等の講習会を実施し、 ほうしいうん すその ひろ 奉仕員の裾野を広げ、ま ゆうしかくしゅ かくだい め た、有資格者の拡大も目 き 指します。	しゅわ こうしゅうかい しゅわ こうざ てんやくこうしゅうかい おんやくこうしゅうかい けいぞく じっし ちょうかくしょうがいしほよ しかく しょう 手話講習会・手話ステップアップ講座・点訳講習会・音訳講習会を継続実施し、聴覚障害者及び視覚障 うがいしや えんじよ ぎじゆつ ふきゆう つと 害者のコミュニケーションを援助するための技術の普及に努めました。また、講習会修了者などの人材 かつよう はか 活用を図りました。	げんじよういじ 現状維持： これまでの とりくみ け 取組を継 いぞく 続する
	しょうがいきかくか 障害企画 課	しゅわつうやくしや ようやく 手話通訳者・要約 ひつきしやとう はけん 筆記者等の派遣	りようしや おう 利用者のニーズに応じ しゅわつうやくしや ようやくひつ て、手話通訳者・要約筆 きしやとう はけん 記者等を派遣します。ま とうろくしゅわつうやくしや た、登録手話通訳者のス キルアップを図るための げんにんけんしゅう じっし 現任研修を実施します。	しゅわつうやくしや こうじよう はか げんにんけんしゅう じっし 手話通訳者のスキルアップの向上を図るため、現任研修を実施しています。 ようやくひつきつうやくじぎょう れいわ ねん がつ にち ・要約筆記通訳事業(令和5年3月31日) はけんけんすう けん はけんじかん じかんまてい 派遣件数20件 派遣時間100時間予定 しゅわつうやくはけんじぎょう ・手話通訳派遣事業(令和5年3月31日) はけんけんすう けん はけんじかん じかんまてい 派遣件数900件 派遣時間1,800時間予定 とうろくしゅわつうやくしやげんにんけんしゅう ・登録手話通訳者現任研修 かいじっしよてい ふく 8回実施予定(オリエンテーションを含む)しています。	げんじよういじ 現状維持： これまでの とりくみ け 取組を継 いぞく 続する

		けいかく 計画		ちゅうかんそうかつみこみ 中間総括見込み	
しやく きてい 施策の基 ん もくひょう 本目標	しよかん か 所管課	しやくめい 施策名	とく 取り組み	れいわ ねんどまつ 令和5年度末における とりくみ そうかつ 取組の総括	こんご けう 今後の方 こう 向
(2) 多様なコミュニケーション	こうほう 広報プロ モーショ ン課	てんじ おんせい しゅわ 点字・音声・手話 などによる情報提供	こうほう ひらかた しぎ 広報ひらかた、枚方市議 かいほう けんこうべんり 会報、ひらかた健康便利 ちよう しせ いじょうほう てんじ 帳など市政情報を点字・ おんせい ていきよう 音声で提供します。 ししゅさいじぎよう しゅ 市主催事業について、手 わつうやくしや せつち はたら 話通訳者の設置を働きか けます。 また、市のホームページ について、おんせい もう 音声ガイドを設 けるなど、ユニバーサルデ ザインの充実を図ります。	こうほう てんじ・おんせい ていきよう おんせいよ あ かのう たげんごたいおう 広報ひらかたを点字・音声で提供しました。また、音声読み上げが可能な多言語対応アプリで こうほう はいしん 広報ひらかたを配信しました。 ししゅさいじぎよう しゅわつうやくしや せつち はたら 市主催事業について、手話通訳者の設置を働きかけました。 また、市ホームページのリニューアルに伴い、やさしい日本語に対応するとともに、引き続 き、音声ガイドを設けるなどユニバーサルデザインの充実を図りました。	げんじよういじ 現状維持： これまでの とりくみ け 取組を継 いぞく 続する
	ほしほけんか 母子保健 課			けんこう べんりちよう てんやく ろくおん ばん さくせい たいしやうしや ていきよう 「ひらかた健康便利帳」の点訳・録音盤を作成し、対象者へ提供しています。	げんじよういじ 現状維持： これまでの とりくみ け 取組を継 いぞく 続する

		けいかく 計画		ちゅうかんそうかつみこみ 中間総括見込み	
しやく きてい 施策の基 ん もくひょう 本目標	しよかん か 所管課	しやくめい 施策名	とく 取り組み	れいわ ねんどまつ 令和5年度末における取組の総括	こんご ほう 今後の方 こう 向
(2) 多様な手法によるコミュニケーション支援	しょうがいきかく 障害企画 か 課	てんじ おんせい しゅわ 点字・音声・手話 による情報提供	こうほう ひらかたしぎかい 広報ひらかた、枚方市議 会報、ひらかた健康便利 う しせいじょうほう てんじ・お 帳など市政情報を点字・ んせい ていきょう 音声で提供します。 ししゅさいぎょう 市主催事業について、手 わつうやくしや せつち はたらき 話通訳者の設置を働きか けます。 また、市のホームページ について、音声ガイドを設 けるなど、ユニバーサルデ ザインの充実を図ります。	まいとしかいさい ひらかたし しやかいふくしんぎかい しょうがいふくしせんもんぶんかかい およ じりつ しえん きょうぎかい ぜんたいかい 毎年開催される、枚方市社会福祉審議会障害福祉専門分科会及び自立支援協議会全体会では、手 わつうやくしや かわ かくだいもじ しりょう さくせい おこな 話通訳者に加えて、拡大文字による資料の作成も行いました。 また、本市ホームページに新型コロナウイルス感染症拡大防止にかかる市長の緊急メッセージを掲載 した際には手話通訳者の動画を併せて掲載し、また国際手話言語デーに係る市長のメッセージを掲載 した際に手話通訳者の動画を併せて掲載しました。	げんじょういじ 現状維持： これまでの とくみ け 取組を継 いぞく 続する
	ぎ じちようさ 議事調査 か 課			ひらかたしぎかいほう ないよう ぜんぶんけいさい てんじ こえ ぎかいほう はつこう きほうしゅ はいふ 枚方市議会報の内容を全文掲載した点字・声の議会報を発行し、すべての希望者に配布するととも に、枚方市議会報と市議会ホームページで点字・声の議会報のPR文を掲載しました。また、声の議会 ほう おんせいデータについても引き続き市議会ホームページで公開しました。 しゅわつうやくしや はいち へいせい ねんど れいわ ねんど けん いらい 手話通訳者の配置については、平成29年度から令和5年度までで3件依頼がありました。 へいせい ねんど けん れいわがねんど けん 平成30年度1件、令和元年度2件	げんじょういじ 現状維持： これまでの とくみ け 取組を継 いぞく 続する
	しょうがいきかく 障害企画 か 課	じゅうどうしょうがいしゃにゆうい 重度障害者入院 んじ 時コミュニケーション しえん 支援	じゅうどうほうもんかいご こうどう 重度訪問介護および行動 えんごなど しきゅうけつてい う 援護等の支給決定を受け ており、コミュニケーション しえん ひつよう じゅうどう しょうが 支援が必要な重度の障害 いしや にゆういん ばあい いりよ 者が入院した場合に、医 うきかん いしそつう え 療機関との意思疎通を円 んかつ はか 滑に図ることができるよう しえん 支援します。	にゆういんじ しえん たいおう おお しょうがいしゃ あんてい にゆういんせいかつ おく 入院時のコミュニケーション支援のニーズに対応し、より多くの障害者が安定した入院生活を送ること ができるよう、令和元年10月に本事業の要綱を改正し、対象者を拡大しました。	げんじょういじ 現状維持： これまでの とくみ け 取組を継 いぞく 続する

2 緊急時の対応

計画		中間総括見込み			
施策の基 本目標	所管課	施策名	取り組み	令和5年度末における取組の総括	今後の方 向
(1) 障害ニーズに 応じた対応	障害企画 課	緊急通報装置の 設置	緊急通報装置の貸与事業 については、継続して事 業を実施し、ひとり暮らし などの重度障害者の不安 感の解消を図ります。	ひとり暮らしの身体障害者、知的障害者、精神障害者及び難病患者等に対して、緊急通報装置を貸与 することにより、急病・災害等の緊急時における迅速かつ適切な対応を確保するとともに、ひとり暮らし の不安解消を図りました。令和5年3月31日現在、35名が緊急通報装置を利用中です。	現状維持： これまでの 取組を継 続する
	障害企画 課	地域生活支援拠 点の整備	相談、一人暮らしやグ ループホーム等の体験の 機会の場、緊急時の受入 れや対応等の機能を有し た地域生活支援拠点の整 備を進めます。	障害福祉計画(第6期)において、令和5年度末までの設置を目標と掲げている地域生活支援拠点につ いて、毎月開催の枚方市自立支援協議会幹事会及び、枚方市自立支援協議会相談支援部会の場で 検討を行い、設置に向けて取り組みました。	拡充：取組 を発展・拡 充させる
	障害企画 課	ネット119緊急通 報システムの活用	聴覚、音声・言語又はそ しゃく機能の障害により、 音声による119番通報が 困難な方のために枚方寝 屋川消防組合等が提供す るネット119緊急通報シス テムの周知と利用促進に 努めます。	声で情報を伝えることが難しい聴覚障害者、音声言語機能障害者等が、ネット119緊急通報システムを 申請することにより、携帯電話やスマートフォン等を用いて、急病・災害等の緊急時に119番通報ができ ることで、不安解消を図ります。	現状維持： これまでの 取組を継 続する

3 保健・医療との連携

		計画		中間総括見込み	
施策の基 本目標	所管課	施策名	取り組み	令和5年度末における取組の総括	今後の方 向
(1) 保健・医療との連携	健康づくり・介護予防課	健康相談事業の推進	生活習慣病や日常の健康 管理などについて、保健 師や管理栄養士などの専 門職員による指導や助言 を行います。	引き続き、定例の来所相談だけでなく、電話相談を随時実施します。 平成30年度4,068人、平成31年度2,523人、令和2年度420人、令和3年度571人、令和4年度1,336人。	現状維持： これまでの 取組を継 続する
	健康福祉 総合相談 課			来所相談、電話相談、地域の集まりへ出向いての相談を随時実施しました。 新型コロナウイルス感染症の拡大防止等のため、実施回数は減少傾向にありましたが、直近では135 人の健康相談を実施し、健康保持・増進に役立たせるため、心身の健康について個別の相談に応じて 必要時指導や助言を行いました。	現状維持： これまでの 取組を継 続する
	健康づくり・介護予防課	訪問指導事業の推進	保健師・理学療法士・作業 療法士・管理栄養士・歯科 衛生士などの保健セン ターの専門スタッフによる 訪問指導事業に取り組み ます。	必要に応じ、保健師、理学療法士、作業療法士、管理栄養士、歯科衛生士による訪問指導を引き続き 実施します。 平成30年度166人、平成31年度126人、令和2年度85人、令和3年度82人、令和4年度39人。	現状維持： これまでの 取組を継 続する

		けいかく 計画		ちゅうかんそうかつみこみ 中間総括見込み	
しやく きてい 施策の基 ん もくひょう 本目標	しよかん か 所管課	しやくめい 施策名	とく 取り組み	れいわ ねんどまつ 令和5年度末における取組の総括	こんご ほう 今後の方 こう 向
(1) 保健・医療との連携	けんこう 健康づく り・介護 予防課	けんこうきょういじぎょう 健康教育事業の すいしん 推進	せいかつしゅうかんびょう と ほう けんこう 生活習慣病の予防や健康 の保持・増進を図れるよ う、健康に関する正しい知 識を普及する健康教育事 業に取り組みます。	ほけん 保健センターや、出前講座などの依頼により地域に出向いて、健康に関する講座を引き続き実施しま す。 へいせい ねんど 平成30年度3,458人、平成31年度3,712人、令和2年度736人、令和3年度915人、令和4年度2,230人。	げんじょういじ 現状維持： これまでの とりくみ け 取組を継 いぞく 続する
	けんこう ふくし 健康福祉 そうごう そうだん 総合相談 か 課			でまえ こうざ いらい ちいき でむ けんこう かん こうざ じっし 出前講座などの依頼により地域に出向いて、健康に関する講座を実施しました。また、市民からの依 頼や保健師からの働きかけによって地域の集まりへ出向き、健康教育を実施しました。新型コロナウイ ルス感染症拡大防止等のため、実施回数は減少傾向にありましたが、直近では22回の健康教育を実 施し、生活習慣病予防や、健康の保持・増進のため、健康に関する正しい知識の普及を図りました。	げんじょういじ 現状維持： これまでの とりくみ け 取組を継 いぞく 続する

		けいかく 計画		ちゅうかんそうかつみこみ 中間総括見込み	
しやく きてほ 施策の基 ん もくひょう 本目標	しよかん か 所管課	しやくめい 施策名	とく 取り組み	れいわ ねんどまつ 令和5年度末における取組の総括	こんご ほう 今後の方 こう 向
(1) 保 健・ 医 療 との 連 携	けんこう 健康づく り・介護 よぼう か 予防課	こうくう けん すいしん 口腔保健の推進	しょうがいしゃ じ にゆうしょ つうしよ 障害者(児)の入所・通所 施設で歯科健康診査や口 腔衛生指導が実施できる よう環境整備に努める等、 しょうがいしゃ じ こうくう 障害者・児の口腔ケアや こうくうき の こうじょう はか 口腔機能の向上を図りま す。	しょうがいしゃ じ にゆうしょ つうしよ しせつ でむ しか けんこう しんさ こうくう えいせい しどう おこな 障害者(児)の入所・通所施設に出向き、歯科健康診査および、口腔衛生指導を行います。また、希望 施設に対して、施設職員やや通所・入所者に対し、健康教育やはみがき指導を引き続き実施してい ます。 へいせい ねんど しせつ にん へいせい ねんど しせつ にん れいわ ねんど しせつ にん れいわ ねんど しせつ 平成30年度22施設 203人、平成31年度 22施設 197人、令和2年度19施設161人、令和3年度 23施設 209人、令和4年度20施設191人(歯科健康診査実績)。	げんじょういじ 現状維持： これまでの とりくみ け 取組を継 いぞく 続する
	ほ けんよほうか 保健予防 課	なんびょうかんにゃ りょうよう 難病患者の療養 しえん 支援	していなんびょうかんにゃ かぞく 指定難病患者とその家族 ざいたくりょうようしえん もくてき の在宅療養支援を目的に ほ けんし せんもんしよく そう 保健師や専門職による相 談事業、訪問指導事業、 いりょうこうえんかい かんじやか ぞくこう 医療講演会、患者家族交 りゆうかいどう じっし 流会等を実施します。ま しえん なんびょう た、支援スタッフの難病に かん ちしき りかい そくしん 関する知識・理解の促進 しえんぎじゆつ こうじょう はか や支援技術の向上を図る ため、かんけいかんどう けんしゆ 関係機関等に研修 うかい じっし 会を実施します。	せんもんしよく らいしよ ほうもん そうだん じぎょう じっし ほけんし かていほうもん じっし リハビリ専門職等による来所や訪問による相談事業の実施や、保健師による家庭訪問を実施してい ます。医療講演会や患者家族交流会、関係機関対象の研修会は、新型コロナウイルスの感染拡大に より、開催が困難な状況が続きましたが、患者家族や関係機関のニーズを踏まえ、かんせんたいさく おこな 感染対策を行いな がら開催しています。	げんじょういじ 現状維持： これまでの とりくみ け 取組を継 いぞく 続する

		けいかく 計画		ちゅうかんそうかつみこみ 中間総括見込み	
しやく きてい 施策の基 ん もくひょう 本目標	しよかん か 所管課	しやくめい 施策名	とく 取り組み	れいわ ねんどまつ 令和5年度末における取組の総括	こんご ほう 今後の方 こう 向
(1) 保健・医療との連携	ほけんいりよう 保健医療 課	せいしんしつかんかんじや 精神疾患患者に たい そうだんたいせい 対する相談体制 のじゅうじつ の充実	せいしんしつかん ゆう もの 精神疾患を有する者、ま たはうたが あるもの その家族に対して、精神 かぞく たい せいしん 科医や臨床心理士、精神 かい りんしょうしんりし せいしん 保健福祉士、保健師等に よる相談を実施します。精 いしんつかん そうきはつけん そうき 神疾患の早期発見、早期 ちりょう すいしんとう む そう 治療の推進等に向けた相 だん おこな 談を行います。	せいしんしつかんかんじや うたが もの かぞく そうだん ほうもん じっし ○精神疾患患者やその疑いがある者またその家族からの相談や訪問を実施しました。 ・相談件数(延べ) れいわ ねんど かい れいわ ねんど かい れいわ ねんど かい 令和2年度 2825回 令和3年度 3412回 令和4年度 3086回 れいわ ねんど かい よてい 令和5年度 3500回(予定) ・うち訪問件数(延べ) れいわ ねんど かい れいわ ねんど かい れいわ ねんど かい 令和2年度 486回 令和3年度 705回 令和4年度 610回 れいわ ねんど かい よてい 令和5年度 700回(予定) せいしんしつかん そうきはつけん そうきちりょう もくてき そうだん じゅりょうしえん せいしんかいし しんだん ○精神疾患の早期発見・早期治療を目的とした相談については、受療支援や精神科医師による診断・ はんてい じっし しょうじょう さいねん あつか ふせ ちりょうけいぞく しえん じっし 判定を実施しました。また症状の再燃や悪化を防ぐための治療継続支援も実施しました。 ・受療支援件数(延べ) れいわ ねんど かい れいわ ねんど かい れいわ ねんど かい 令和2年度 103回 令和3年度 170回 令和4年度 80回 れいわ ねんど かい よてい 令和5年度 120回(予定) ・診断判定件数(延べ) れいわ ねんど かい れいわ ねんど かい れいわ ねんど かい 令和2年度 18回 令和3年度 45回 令和4年度 20回 れいわ ねんど かい よてい 令和5年度 30回(予定)	げんじょういじ 現状維持: これまでの とりぐみ け 取組を継 いぞく 続する

		けいかく 計画		ちゅうかんそうかつみこみ 中間総括見込み	
しやく きてい 施策の基 ん もくひょう 本目標	しよかん か 所管課	しやくめい 施策名	とく 取り組み	れいわ ねんどまつ 令和5年度末におけるとりくみ そうかつ 取組の総括	こんご ほう 今後の方 こう 向
(1) 保健・医療との連携	ほけんいりよう 保健医療 か 課	ざいたくいりようたいせい 在宅医療体制の じゅうじつ 充実	ひらかたしな い さん し かい いし かい 枚方市内の三師会(医師 会・歯科医師会・薬剤師 会)や訪問看護ステーショ ンと連携し、在宅医療体 制の充実に取り組みま す。	けんい かくし 圏域の各市における在宅医療及び介護連携推進事業の現状を共有するとともに、在宅医療の連携に 係る取り組みについて意見交換等を行うため、大阪府が年1回以上開催する会議(「北河内在宅医療 懇話会」)に出席しています。	げんじょういじ 現状維持: これまでの とくみ け 取組を継 いぞく 続する
	しょうがい しかく 障害企画 か 課	しょうがいしや し か しんりよう 障害者歯科診療	ひらかたし し か い し かい れんけい 枚方市歯科医師会と連携 し障害者の歯科診療の受 診機会をさらに増やすな ど診療体制の充実に努め ます。	きんりん し か しんりようじょ じゅしん こんなん しょうがいしや じ たい 近隣の歯科診療所で受診が困難な障害者(児)に対し、枚方市休日歯科急病診療所(保険センター内) で、毎週木曜日の午後1時～5時と毎月2回土曜日の午後2時～6時に診察を実施しています。令和4年 度は延べ857人が受診しました。令和5年度についても引き続き毎週木曜日と月2回土曜日に診察を实 施しています。	げんじょういじ 現状維持: これまでの とくみ け 取組を継 いぞく 続する

		けいかく 計画		ちゅうかんそうかつみこみ 中間総括見込み	
しやく きてい 施策の基 ん もくひょう 本目標	しよかん か 所管課	しやくめい 施策名	とく 取り組み	れいわ ねんどまつ 令和5年度末における とりくみ そうかつ 取組の総括	こんご ほう 今後の方 こう 向
(1) 保健・医療との連携	ほけんよぼうか 保健予防課	ざいすくなんびようかんじや 在宅難病患者の ちいき いりよう 地域医療	なんびようかんじや かぞく あんしん 難病患者・家族が安心して ざいたくりようよう 在宅療養ができる地域 づくりに取り組むために、 なんびようせんもんい 難病専門医、かかりつけ い ちいき いりようかんけいしよくしゅ 医、地域の医療関係職種 とう れんけい きようか いりよう 等の連携を強化し、医療 ネットワークを構築しま す。	けんこう いりよう とし 健康医療都市ひらかたコンソーシアム連携事業 枚方市難病対策 難病ネットワーク部会 について、企 く うんえいかいぎ じつむしやかいぎ かいさい なんびようかんじや かぞく あんてい ざいたくりようよう しえん 画運営会議や実務者会議を開催し、難病患者とその家族の安定した在宅療養を支援するための取り く じつし 組みを実施しています。	きか 現状維持： これまでの とりくみ け 取組を継 いぞく 続する
	しょうがいしえん 障害支援 か 課	びやういん ちいき 病院からの地域 いこう 移行	ひらかたしじりつしえんきようぎかいせいしんし 枚方市自立支援協議会精 うがいしやちいきせいかつしえんぶかい 神障害者地域生活支援部 会において医療機関等と れんけい たいいんそくしん と 連携し、退院促進に取り く 組みます。	ひらかたしじりつしえんきようぎかいせいしんしょうがいしやちいきせいかつしえんぶかい じつし ひらかたしない せいしんかびようしやう 枚方市自立支援協議会精神障害者地域生活支援部会が実施してきた枚方市内の精神科病床のある きようりよくいりようきかん ちようきにゆういん かんじやとう ほうもんめんせつ さいかい む と く すず 協力医療機関に長期入院をしている患者等への訪問面接について、再開に向けた取り組みを進めると あらかた けんとう ていきてき ぶかい かいさい かんけいきかん れんけいきようか ともに、新たな取り組みについても検討します。また、定期的に部会を開催し、関係機関との連携強化 たいいんそくしん かん いけんこうかん じつし や退院促進に関する意見交換を実施します。	げんじよういじ 現状維持： これまでの とりくみ け 取組を継 いぞく 続する

4.自分らしい生き方をみつける・選ぶ

1 就労に向けた支援

		けいかく 計画		ちゅうかんそうかつみこみ 中間総括見込み	
し さく きほ 施策の基 本目標	しとかん か 所管課	し さく めい 施策名	と く 取り組み	れい わ ねんどまつ 令和5年度末における取組の総括	こんご ほう 今後の方 向
(1) 就 労にむけた支 援	しょうがいしえん 障害支援 課	しょうがいしゃごうどうしゅうしょ 障害者合同就職 面接会	はろーわーく ちらかた ひらか ハローワーク枚方や枚方 市障害者就業・生活支援 センターと連携して、「障 害者合同就職面接会」の 開催を通じて、一般企業 等への啓発にも努めま す。	きぎょうかいたく 企業開拓については、ハローワーク枚方や枚方市障害者就業・生活支援センターが中心となって進め るなど、新たな雇用を目指した取り組みを行いました。また、毎年1回開催している「障害者合同面接 会」は、令和6年1月の開催予定で20回目を迎えるとともに、この面接会による就職が実現しました。	げんじょういじ 現状維持： これまでの 取組を継 続する
	しょうがいしえん 障害支援 課	しよくばたいけんき かい 職場体験機会の 提供	ほん し 本市での「庁舎内実習」を 実施して、障害のある人 の職業体験機会の提供に 取り組みます。	ちやうしゃないじしゅう まいねんど かくふしよ じっしゅうせい う い なか いっぱんしゅうろう 庁舎内実習は、毎年度、各部署で実習生を受け入れ、その中から、一般就労につながった方も出てい ます。また、一般企業等においても、ハローワーク枚方や枚方市障害者就業・生活支援センターが中 心となって実習の受け入れを呼びかけており、職業体験機会の拡大に取り組みました。	げんじょういじ 現状維持： これまでの 取組を継 続する

		けいかく 計画		ちゅうかんそうかつみこみ 中間総括見込み	
しやく きてい 施策の基 ん もくひょう 本目標	しよかん か 所管課	しやくめい 施策名	とく 取り組み	れいわ ねんどまつ 令和5年度末における取組の総括	こんご ほう 今後の方 こう 向
(1) 就労にむけた支援	じんじか 人事課	チャレンジ雇用 しょうがい 障害のある人へ の就労支援	へいせい ねんど 平成29年度から実施して いる、障害のある人を一 てい きかん ほんし しよくいん 定期間本市職員として雇 う 用する「チャレンジ雇用」 せいど けいぞく じっし 制度を、継続して実施して いきます。	しょうがい かねた りんじしよくいん 障害のある方を臨時職員として1か月程度短期雇用する等の検証による実績を踏まえ、将来の就労に む けた 更なる しょうかい ねんど 向けた更なる支援として、平成29年度から「チャレンジ雇用」を実施しています(平成30年度から実施す る計画のところを前倒し実施)。 れいわ ねん がつ めい 令和3年4月 5名 れいわ ねん がつ めい 令和4年6月 3名 れいわ ねん がつ めい しよう 令和5年4月 2名 を雇用しました。	げんじよういじ 現状維持: これまでの とりくみ け 取組を継 いぞく 続する
	しょうがいしえん 障害支援 か 課			へいせい ねんど しよう かいし ひじようきんしよくいん ねんかん かいけき こうしん か しよう しえん 平成29年度からチャレンジ雇用を開始し、非常勤職員として1年間(1回限り更新可)雇用して支援を行 いました。体調不良などのため退職となった方もありましたが、その中から、3名の方について民間企 業への就職が実現しました。	げんじよういじ 現状維持: これまでの とりくみ け 取組を継 いぞく 続する
	じんじか 人事課	市職員への雇用	ほんし しょうがいしやくつやくしんしん け 本市の障害者活躍推進計 画で目標に掲げる障害者 雇用率の実現に向けて、 しょうくいんさいようしけん じょ 職員採用試験において障 害者枠を設けるとともに、 ひじようきんしよくいんどう さいよう 非常勤職員等の採用につ いても同様に取り組んで いきます。	れいわ ねんど しょうがいしやくつやくしんしん かもくひょう かなか たつせい 令和4年度の障害者雇用率は、目標に掲げる3%を達成しましたが、令和3年度は2.91%と目標の3% に未達です。障害者の社会進出、安定した雇用の促進を目的に、引き続き、事務員の区分に障害者枠 を設けて職員採用試験を実施します。 れいわ ねん がつ めい 令和3年4月 0名 れいわ ねん がつ めい 令和4年4月 2名 れいわ ねん がつ めい さいよう 令和5年4月 2名を採用しました。	げんじよういじ 現状維持: これまでの とりくみ け 取組を継 いぞく 続する
	しょうがいきかく 障害企画 か 課	日中活動系サー ビス	りよう しゃ おう 利用者ニーズに応じた サービス提供の確保に努 めるとともに、既存事業所 の施設整備や定員増のほ か、新たな日中活動の場 の確保とこれを担う人材 の育成等事業者の支援施 策を講じます。	れいわ ねんど ひ つづ にちちゅうかつどうけい じぎょうしよ つうしよ ざいたく せいしんしょうがいしやなど たい ・令和5年度も引き続き、日中活動系サービスの事業所へ通所する在宅の精神障害者等に対して交通 費の一部を助成する、「枚方市障害者通所支援補助事業」を実施、通所サービスの活用を促すよう図 ります。 いかわ ねんど きゅうふ じつせき じぎょうしよ りよう にな 和4年度は、給付実績:38事業所を利用する372人。 ・就労継続支援B型の事業所の新規整備に係る、枚方市障害者施設等整備費補助金の交付申請が 採択され、令和4年度に開設されました。	げんじよういじ 現状維持: これまでの とりくみ け 取組を継 いぞく 続する

		けいかく 計画		ちゅうかんそうかつみこみ 中間総括見込み	
しやく せしかく 施策の基 ん もくひょう 本目標	しよかん か 所管課	しやくめい 施策名	とく 取り組み	れいわ ねんどまつ 令和5年度末における取組の総括	こんご ほう 今後の方 こう 向
(2) 就労に関する相談支援	しょうがいしえん 障害支援 か 課	しゅうろうそうだんおよ しょう 就労相談及び職 場定着支援	ひらかたししょうがいしやしゅうぎょう せいかつ 枚方市障害者就業・生活 支援センターが軸となっ て、ハローワーク等の関 係機関や企業との連絡調 整を進めながら、就業・社 会生活上の相談支援や職 場定着のための支援に取 り組みます。	ひらかたししょうがいしやしゅうぎょう・せいかつしえん ちゅうしん かんけいきかん こうせい じつむたんとうしやかいぎ つき 枚方市障害者就業・生活支援センターが中心となって、関係機関で構成する実務担当者会議を月1回 開催し、障害者の就労支援について議論を行うとともに、合同就職面接会やジョブガイダンス等、一般 就労の実現に向けた取り組みを実施しました。 また、枚方市自立支援協議会就労支援部会では市内の障害者事業所を対象に連絡会を立ち上げ、就 労支援員のスキルアップ向上を目的としたセミナーや事例報告会等を開催しました。	げんじょういじ 現状維持： これまでの とくみ け 取組を継 いぞく 続する
(3) 工賃向上に向けた支援	しょうがいしえん 障害支援 か 課	しょうがいしや こうちん か 障害者の工賃改 善	ふくし 「福祉バザー」、「ふれあい フェスティバル」や総合福祉 会館や市駅ふれあいコー ナー内の販売コーナー等、 授産品の販促活動に継続的 に取り組んでいきます。ま た、ひらかた共同受注・優先 調達ネットワークの組み への支援を通じて、障害者 の工賃アップにつなげてい きます。	しょうがいしや しゅうろうしえん こうちん こうじょう もくてき ふくし 障害者の就労支援と工賃の向上を目的に「福祉バザー」や「ラポールひらかた」、「菅原生涯学習セン ター」にて授産品や飲食物の販売促進を継続的に実施しています。なお、「ラポールひらかた」内の喫 茶コーナーは令和4年度末に閉鎖しました。 また、就労支援事務局連絡において、複数の事業所が共同受注・優先調達ワーキングチームに参加 し、共同受注センターについて研究を行った結果、令和元年度から「ひらかた共同受注・優先調達ネッ トワーク」を立ち上げ、活動を行っています。	げんじょういじ 現状維持： これまでの とくみ け 取組を継 いぞく 続する

		けいかく 計画		ちゅうかんそうかつみこみ 中間総括見込み	
しやく ぎほ 施策の基 ん もくひよう 本目標	しよかん か 所管課	しやくめい 施策名	とく 取り組み	れいわ ねんどまつ 令和5年度末における とりくみ とうかく 取組の総括	こんご ほう 今後の方 こう 向
(3) 工賃向上に向けた支援	しょうがいしえん 障害支援 か 課	ゆうせんちやうたつほうしん 優先調達方針に もと しょうがいしやしゆうた 基づく障害者就労 うしせつとう ぶつ 施設等からの物 びんとう ちやうたつ 品等の調達	ゆうせんちやうたつほうしん もと 優先調達方針に基づき、 しょうがいしやしゆうたうしせつとう 障害者就労施設等からの ぶつびんとう ちやうたつ そくしん 物品等の調達を促進しま す。	へいせい ねん がつ しょうがいしやゆうせんちやうたつすいしんほう しこう 平成25年4月より障害者優先調達推進法が施行されたことを受け、市役所をはじめ、市内企業、一般 んしきんとう はつちゆうかのう しょうがいふくし しぎようしよ と あつか ぶつびん 市民等が発注可能な障害福祉サービス事業所で取り扱っている物品やサービスを掲載したカタログを さくせい かくふしよ よ しょうがいしやしゆうたうしせつとう じゅちゆうかい ぞうだい はか 作成し、各部署に呼びかけることで、障害者就労施設等の受注機会の増大を図りました。なお、カタロ グについては、これまでに3度、改訂を行っています。	げんじよういじ 現状維持： これまでの とりくみ け 取組を継 いぞく 続する

2 社会参加と多様な学習への支援

中間総括見込み					
施策の基 本目標	所管課	施策名	取り組み	令和5年度末における取組の総括	今後の方 向
(1) 生涯学 習の推 進	文化生涯 学習課	社会参加・自立を 助ける学習活動	生涯学習事業など、様々 な場面で学習機会を提供 するとともに、障害者の主 体的な学習を支援します。	各生涯学習市民センターにおいて、障害者(関係)団体に対し、施設の早期予約受付、利用料減免、優先利用可の部屋を設けることなどにより、障害者の活動の機会を広く提供しました。 また、点字版のセンター案内のリーフレットを設置しています。	現状維持： これまでの 取組を継 続する
	生涯学習 教育政策 課			令和3年度～令和4年度の「はたちのつどい」において、聴覚障害者への支援として市長および議長からのビデオレターに字幕スーパーを入れ、緊急な要請があった場合にも対応できるよう手話通訳者を用意し、また、視覚障害者に対しても全19会場に点字版のプログラムを準備しました。令和5年度も同様に、字幕スーパー、点字版のプログラムの準備、事前に申し込みがあった場合の手話通訳者の配置を予定しています。 社会教育事業として行った全ての各講座においても、希望する聴覚障害者に対して手話通訳者や要約筆記者を確保する体制を整えており、令和5年度も同様に進めます。	現状維持： これまでの 取組を継 続する
(2) 文化・芸 術活動へ の支 援	文化生涯 学習課	文化・芸術活動の 支援	障害者の生きがいづくり と、様々な世代にわたって 交流を深めていけるよう、 各種の文化・芸術活動を 支援します。	生涯学習市民センターのロビー等のスペースに、創作活動の発表の場を設け、障害者(関係)団体を含め、広く市民による展示・発表の機会の場を提供しています。	現状維持： これまでの 取組を継 続する

		計画		ちゅうかんそうかつみこみ 中間総括見込み	
施策の基 んもくひょう 本目標	所管課	施策名	取り組み	令和5年度末における取組の総括	今後の方 こう 向
(2) 文化・芸術活動への支援	ちゅうおうとしよかん 中央図書館	としよかん 図書館サービス	だいかつじとしょ てんじ るくおん 大活字図書、点字・録音 資料、手話・字幕付き映像 資料を充実し、対面読書 サービスや手話で楽しむ おはなし会等バリアフリー 行事の実施やICT機器を 活用したサービスの検討 等を行います。	たいめんどくしよ じっし だいかつじとしょ みくおんとしよなど ・対面読書サービスを実施し、大活字図書、録音図書等のバリアフリー図書を購入・製作するなどして 障害者の読書支援を継続しました。 対面読書: 令和元年度322回、令和2年度77回、令和3年度113回、令和4年度111回、 令和5年度115 回(予定) 大活字図書購入: 令和元年度153冊、令和4年度184冊(全館)、令和5年度190冊 (予定) 録音図書(デジジー図書)製作・購入・寄贈: 令和元年度48タイトル、令和2年度36タイトル、令和3年 度11タイトル、令和4年度34タイトル、令和5年度40タイトル(予定) ・手話ブックトーク、バリアフリー映画上映会、学習障害講演会等のイベントを実施し、障害理解と読書 支援に繋がる活動を継続して実施しました。 手話でたのしむおはなし会: 令和元年度9回176人、令和2年度7回79人、令和3年度11回98人、令 和4年度11回164人、令和5年度11回170人(予定) 手話ブックトーク: 令和元年度2回95人、令和2年度1回13人、令和3年度2回36人、令和4年度3回 87人、令和5年度3回90人(予定) バリアフリー映画上映会: 令和元年度中止、令和2年度1回33人、令和3年度3回111人、令和4年度 3回108人、令和5年度3回110人(予定) その他イベント: バリアフリー体験会 令和元年度1回399人、バリアフリー資料展 令和2年度1回58 人 令和3年度1回190人、学習講演会 令和元年度1回66人 令和2年度1回40人 令和3年度2 回64人、令和4年度1回59人 令和5年度も開催予定	げんじょういじ 現状維持: これまでの とくみ け 取組を継 いぞく 続する
(3) シ ョ ン 活 動 へ の 支 援	しょうがいきかく 障害企画 課	スポーツ・レクリ エーション活動の 推進	ふうせん たつきゅう 風船バレーや卓球等のス ポーツ事業を定期的に実 施し、障害者にスポーツを 楽しむ機会を提供すると ともに、卓球、ポッチャ、フラ イングディスク等、利用者 ニーズの高い種目を選ん で、スポーツ・レクリエー ション教室を開催します。	えスポーツ・ウィルチエアスポーツ等様々な種目の障害者スポーツイベントを年度内に3回実施します。	げんじょういじ 現状維持: これまでの とくみ け 取組を継 いぞく 続する

		けいかく 計画		ちゅうかんそうかつみこみ 中間総括見込み	
しやく ぎほ 施策の基 ん もくひょう 本目標	しよかん か 所管課	しやくめい 施策名	とく 取り組み	れいわ ねんどまつ 令和5年度末における取組の総括	こんご ほう 今後の方 こう 向
(3) スポーツ・レクリエーション活動への支援	スポーツ しんこう か 振興課	スポーツ・レクリエーション活動の推進	ふうせん たつきゆう 風船バレーや卓球等のスポーツ事業を定期的に実施し、障害者にスポーツを楽しむ機会を提供するとともに、卓球、ボッチャ、フライングディスク等、利用者ニーズの高い種目を選ぶで、スポーツ・レクリエーション教室を開催します。	<p>そうごうたいいくかん なぎさしみんたいいくかん およ いかが 総合体育館、渚市民体育館及び伊加賀スポーツセンターにおいて、障害者スポーツを体験できる機会を設け、障害者スポーツの普及の支援を行っています。</p> <p>【令和3年度】 *障害者スポーツスクエア [総合体育館] 延べ195人 月1回開催(5月6月は未実施) [伊加賀体育館] 延べ138人 月1回開催(5月6月9月は未実施) *障害者ふれあいスポーツDAY [渚市民体育館] 延べ0人 月1回開催 ・車いすバスケットボール体験 延べ38人(11月12月の2回実施)</p> <p>【令和4年度】 *障害者スポーツスクエア [KTM河本工業総合体育館] 延べ129人 月1回開催 [誠信建設工業伊加賀体育館] 延べ24人 月1回開催(7月以降は代表者辞退に伴い未実施) *障害者ふれあいスポーツDAY [渚市民体育館] 延べ0人 月1回開催 ・車いすバスケットボール体験 延べ26人(12月3月の2回実施)</p> <p>【令和5年度(予定)】 *障害者スポーツスクエア [KTM河本工業総合体育館] 月1回開催 [誠信建設工業伊加賀体育館] 年2回開催 *障害者ふれあいスポーツDAY [渚市民体育館] 月1回開催 ・車いすバスケットボール体験 年2回開催</p>	現状維持: これまでの とりくみ け 取組を継 いぞく 続する
	スポーツ しんこう か 振興課	障害者スポーツ活動への支援の充実	しりつそうごう 市立総合スポーツセンター等での、障害者のスポーツ環境の整備や、障害者のレクリエーション活動等の支援に取り組みます。	<p>たいおう せっち あんしん りよう かんきよう せいび オスメイト対応トイレを設置し、安心して利用できる環境を整備しています。</p> <p>そうごうたいいくかん たもくてき しょ 総合体育館:多目的トイレ1か所 りくじようきょうぎじょう たもくてき しょ 陸上競技場:多目的トイレ1か所 いかがたいいくかん だんし しょ じよし 伊加賀体育館:男子1か所 女子1か所 なぎさしみんたいいくかん だんじょけんよう しょ 渚市民体育館:男女兼用2か所</p>	現状維持: これまでの とりくみ け 取組を継 いぞく 続する

3 新しい生活様式の実践

		けいかく 計画		ちゅうかんそうかつみこみ 中間総括見込み	
しやく けい 施策の基 ん もくひょう 本目標	しよかん か 所管課	しやくめい 施策名	とく 取り組み	れいわ ねんどまつ 令和5年度末における取組の総括	こんご けう 今後の方 こう 向
(1) 多様な変化に対応した社会参加	すいしん DX推進 か 課	えんかく しゅわ つうやく た 遠隔手話通訳対 いおう たんまつ 応(タブレット端末 をりよう を利用)	えんかく たんまつ 遠隔によるタブレット端末 をりよう しゅわ つうやく を利用した手話通訳を、 れいわ ねんど ししよ およ 令和2年度は3支所及び けんこう ふくし そうごう そうだん たんとう まど 健康福祉総合相談担当窓 ぐち じっし 口で実施。また緊急時の たいおう じっし こん 対応においても実施。今 こ 後は、個人派遣について たいおう せいび おこな も対応できるよう整備を行 います。	しやうがいしや ごうりてきはしりよ まどぐちたいおう おこな たいせい ととの 障害者への合理的配慮やスムーズな窓口対応を行う体制を整えるため、平成31年3月よりタブレットを つか つうやく どうにゆう ちやうかうしやうがいしやたいおう ひつだん 使った通訳サービスを導入しており、聴覚障害者対応として、筆談アプリ、手話通訳サービスを導入し ています。障害企画課、市民室(本館1階、3支所)、国民健康保険課、健康福祉総合相談課、中央図 しよかん せつち うんよう おこな 書館にタブレットを設置し、運用を行っています。 モバイルデータ通信を使用した場合、通信上限に達し通信が不安定になる可能性がありましたが、無 せんつうしん りよう かろう しゅわつうやくしゅ かた でんわ 線通信での利用を可能にし、手話通訳者の方とテレビ電話(Facetime)やweb会議(Webex Meetings、 など あんていてき おこな とく Zoom等)を安定的に行えるよう取り組みました。	げんじやういじ 現状維持: これまでの とりくみ け 取組を継 いぞく 続する
	しやうがいきかく 障害企画 か 課			えんかくしゅわつうやく ■遠隔手話通訳サービス れいわ ねん がつ にち しんきぎぎょう えんかくしゅわつうやく はじ 令和3年4月1日から新規事業として遠隔手話通訳サービスを始めました。 れいわ ねんど りようしやすう めい ・令和4年度の利用者数:71名 りようけんすう けん ・利用件数:708件	げんじやういじ 現状維持: これまでの とりくみ け 取組を継 いぞく 続する

		けいかく 計画		ちゅうかんそうかつみこみ 中間総括見込み	
しやく きてい 施策の基 ん もくひょう 本目標	しよかん か 所管課	しやくめい 施策名	とく 取り組み	れいわ ねんどまつ 令和5年度末における とりくみ とうりくみ 取組の総括	こんご ほう 今後の方 こう 向
(3) 先進技術による支援ツールの活用	DX推進課	ぎょうせいの行政サービスの電子申請に向けた取り組み	でんし しんせいの電子申請により、市民の利便性の向上を図るため、対応可能な業務から順次対応していきます。	<p>れいわ ねん がつ し きまざま てつづ か たいおう はんようてき でんししんせい どうにゆう 令和3年6月より、市の様々な手続きのオンライン化に対応するため、汎用的電子申請サービスを導入しました。軽易な手続きを中心として適用を進める一方で、オンライン手続きに伴う手数料等の支払い、国の電子申請サービスであるぴたりサービスとの連携などの機能拡充を進め、適用手続きのさらなる拡大を図ってきました。</p> <p>ふきゅう かくだい う マイナンバーカードの普及拡大を受けて、オンラインでの本人確認手法として活用を図るとともに、年間手続き件数の多い等、特に住民の利便性向上が期待される手続きについては、優先的にオンライン化を進めることとし、しみんせいかつぶ けんこうふくしふ こ みらいぶ どう しみん せいかつ みつちやく てつづ しよかん ぶしよ すす 市民生活部・健康福祉部・子ども未来部等の市民生活に密着した手続きの所管部署を中心にオンライン化の検討を進めました。</p>	拡充：取組を発展・拡充させる

5. 身近な相談窓口の充実ときめ細やかな情報提供

1 相談・支援体制の充実

施策の基 本目標	所管課	計画 施策名	取り組み	令和4年度実績	
				取り組み内容	今後の方 向
(1) 相談・支援体制の充実ときめ細やかな情報提供	障害企画課	障害者の相談支援体制	障害者からの相談に応じ、必要な情報提供および助言、サービスの利用など関係機関と連携しつつ、地域の社会資源を活用し必要な援助を行います。また、センター間の連携の機能強化を行い、より専門的な対応ができるように、相談支援センターの体制の充実を図ります。	市内9か所の地域活動支援センターのうち7か所を相談支援機能を併せ持つ障害者地域生活支援事業における相談支援センターとし、相談支援事業を委託しています。福祉サービスの利用援助、社会資源を活用するための援助や支援等を委託内容とし、そのうち2法人はピアカウンセリングを行うなど、利用を希望する障害者に対応しています。また、そのうちの3法人を、基幹相談支援センターとして位置付け、身体・知的・精神障害者等に対応した総合的な相談支援の窓口の設置や、特定相談支援事業所及び一般相談支援事業所が困難と感じる事例への後方支援などを行うことで、センター間の連携の機能強化を行い、より専門的な対応ができるよう相談支援センターの体制の充実に努めました。また、新たに附属機関に委託事業所の事業評価を行う担当事務を加え、委託事業の評価について協議予定です。	現状維持：これまでの取り組みを継続する
	障害企画課	ひらかたしじりつしえん 枚方市自立支援協議会	相談支援センターをはじめ、地域の関係機関が集まり、障害者が自立した地域生活を営む上で必要となるサービス基盤や人材社会資源の確保などについて検討を行います。	まいつき、ひらかたし じりつしえんきようぎかい かんじかい かいさい かくぶかい ほうこく こんご きばん せいび ほうこう げんじよういじ せいとう きようぎ おこな まいねんどかいさい ひらかたし じりつしえんきようぎかい ぜんたいかい かいさい そうだん しえん じつせき ほうこく とう ひょうか けんしょう おこな 開催し、相談支援センターの実績報告等について、評価・検証を行いました。	現状維持：これまでの取り組みを継続する

		けいかく 計画		ちゅうかんそうかつみこみ 中間総括見込み	
しやく きて 施策の基 ん もくひょう 本目標	しよかん か 所管課	しやくめい 施策名	とく 取り組み	れいわ ねんどまつ 令和5年度末における取組の総括	こんご ほう 今後の方 こう 向
(1) 相談・支援体制の充実と きめ細やかな情報提供	しょうがいしえん 障害支援 か 課	ひょういん にゅうしよせつ 病院、入所施設か ちいき こう らの地域移行	たいいん たいしよ しょうがいしや 退院・退所した障害者が ちいき じりつ せいかつ おく 地域で自立した生活を送 れるよう、関係機関や相 談支援センターとともに、 だんし えん 必要な相談や支援を行え る体制づくりを進めます。	ひらかたし じりつ しえん きょうぎかい せんもん ぶんかかい せいしんしやうがいしや ちいき せいかつ しえん ぶかい せつち かんけい きかん き 枚方市自立支援協議会の専門分科会として精神障害者地域生活支援部会を設置し、関係機関の協 うりよく ひらかたかんだいせいしんか びょういん しゃかい てきにゆういんかんじや たい ほうもんめんせつなど じっし ちいき いこう そくしん 力のもと、枚方管内精神科病院の社会的入院患者に対し訪問面接等を実施し、地域移行の促進を おこな 行っています。	げんじょういじ 現状維持： これまでの とりくみ け 取組を継 いぞく 続する
	しょうがいしえん 障害支援 か 課	ちいきでいちやくしえん 地域定着支援	ちいきいこうご 地域移行後や「ひきこも り」等、地域との接点があ ちいき せつてん すく り」等、地域との接点があ ないしょうがいしや たい ちいき ない障害者に対し、地域 でいきいきと安定した生活 あんてい せいかつ を営めるよう訪問などする いとな ほうもん 中で、必要な支援を地域 なか ひつよう しえん ちいき の社会資源を活用しなが しゃかいしげん かつよう ら、関係機関と連携し進め かんけい きかん れんけい すず ます。	あんしん ちいき せいかつ いとな かんけい きかん れんけい ひつよう じょうほうこうかん おこな しえん おこな 安心して地域生活が営めるよう、関係機関と連携し、必要な情報交換を行いながら、支援を行っていま す。	げんじょういじ 現状維持： これまでの とりくみ け 取組を継 いぞく 続する
	しょうがいきかく 障害企画 か 課	ちいきせいかつしえんきよてん 地域生活支援拠 点の整備	そうだん ひとりぐ 相談、一人暮らしやグ るープホーム等の体験の など たいけん 機会、緊急時の受入 きかい ば きんきゆうじ うけい れや対応等の機能を有し たいおうなど きのう ゆう た地域生活支援拠点の整 ちいき せいかつ しえん きよてん せ 備を進めます。 いび すず	しょうがいきふくしけいかく たい き 障害福祉計画(第6期)において、令和5年度末までの設置を目標と掲げている地域生活支援拠点につ れいわ ねんどまつ せつち もくひょう かか ちいきせいかつしえんきよてん いて、毎月開催の枚方市自立支援協議会幹事会及び、枚方市自立支援協議会相談支援部会場で まいつきかいさい ひらかたし じりつしえんきょうぎかい かんじかい およ ひらかたし じりつしえんきょうぎかい そうだんしえんぶかい ば 検討を行い、設置に向けて取り組みました。 けんどう おこな せつち む とくく	かくじゆう とりくみ 拡充：取組 はつてん かく を発展・拡 じゆう 充させる

2 関係機関との連携による支援の充実

		計画	中間総括見込み		
施策の基 本目標	所管課	施策名	取り組み	令和5年度末における取組の総括	今後の方 向
(1) 関係機関との連携による支援の充実	障害企画課	多様な手法によるわかりやすい情報提供	障害者の福祉サービス制度利用を促進するために、サービスの内容、手続きの方法等を掲載したパンフレットやポスター、広報ひらかた、ホームページ、窓口での対応などによってわかりやすい情報提供に努めます。	障害者手帳を交付する際、障害者に係る福祉制度や手続き方法を掲載した冊子「福祉のてびき」を窓口で配布し、内容を説明しました。 また、市内各支所及び障害者相談支援センター7か所への冊子の設置や枚方市ホームページへの冊子データの掲載をすることにより、福祉サービス制度の周知に努めました。	現状維持： これまでの取組を継続する
	障害支援課	医療的ケア児等支援連絡会議	連絡会議を通じ、医療的ケア児の在宅生活を支援する関係機関による意見交換や情報提供を図ります。	医療的ケア児等支援連絡会議を開催し、医療的ケア児に関する情報共有を図るとともに、関係機関から報告のあった支援の現場での課題について意見交換を実施します。	現状維持： これまでの取組を継続する